

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがあり ましたらご連絡ください。
- (4)本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も 負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)乱丁、落丁はお取り替えいたします。

このたびはNEC モバイルプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。 ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」 を最後までお読みください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

LT150ZJは日本国内向けモデルです。

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あ なたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を しています。その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。





はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー

操

Ϋ́F

ビュ

Т

ワを使う

お知らせとお願

ĩĩ

必ず守ってください

⚠警告

水場や水にぬれるような所には置かない

次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。ま たプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の 原因となります。



雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない 風呂やシャワー室で使用しない プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一、プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、 電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のようなところでは使用しない

次のようなところでは使用しないでください。火災・感電の原因となりま す。



ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所 暖房の近くや振動の多い所 湿気やほこりの多い場所 油煙や湯気の当たるような場所 調理台や加湿器のそば

天吊りの設置について



天吊りなどの特別な工事が必要な設置につきましては販売店にご相談くだ さい。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因と なります。

プロジェクタのレンズをのぞかない



プロジェクタのレンズをのぞかないでください。 動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

内部に物をいれない



プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を 差し込んだり、落し込んだりしないでください。 火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

万一、異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、 電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

▲警告		は
キャビネットは絶対にあ	5けない	めに
分解禁止	プロジェクタのキャビネットを外したり、開けたりしないでください。 また改造しないでください。火災・感電の原因となります。 内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。	
「 雷が鳴りだしたら、電源	亰プラグに触れない	
\bigcirc	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。 感電の原因になります。	
ランプ交換は電源を切っ	ってから	とセッ
電源プラグを 日日 コンセントから抜く	ランプの交換は、電源を切り90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プ ラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。 動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となり ます	ッティング
「雪酒コードの取り扱い」	ます。 +大切に	基
	▲大切に 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電 の原因となります。	本 操 作
	コードの上に重いものをのせない コードをプロジェクタの下敷きにしない コードの上を敷物などで覆わない コードを傷つけない、加工しない コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない コードを加熱しない	メニュー操作
	添付されているもの以外の電源コードは使用しない 電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)販売店に交換をご依頼くだ さい。	ビューワ
故障したときは電源プラグを抜く		を 使
電源プラグを 日まです コンセントから抜く	煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクタを落したり、キ ャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセン トから抜いてください。火災・感電の原因となります。 販売店へ修理をご依頼ください。	うお知らせと
本機は日本国内専用です	ţ	し お 願
交流100ボルト 以外使用禁止	電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。	ĩĩ

⚠注意

通風孔をふさがない



プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に 紙や布などの柔らかい物を置かないでください。 火災の原因となることがあります。 プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間(目安として10cm以 上)あけてください。

移動するときは電源コードを抜く



移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機 器間の接続ケーブルを外したことを確認の上、行ってください。

機器のアースは確実にとってください



本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、 機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は36ページをご覧く ださい。

── コンセントのアース端子

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラ グをコンセントから抜いてください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となるこ とがあります。

動作中にレンズキャップをしない



動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶け ることがあります。 動作中にレンズの前に金魚鉢、凸レンズ(虫眼鏡)などを置かないでくだ さい。火災の原因になることがあります。

①注意 電池の取り扱いについっ	٢	はじめに
\frown	電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因と なることがあります。	
	電池をショート、分解、火に入れたりしない 指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない 電池を入れるときは、極性(+と - の向き)に注意し、表示通りに入れる	目次
お手入れの際は電源コー	- ドを抜く	接
電源プラグを 日子 コンセントから抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。	続とセッティン
点検・工事について		グ
人前の掃除を販売店で	1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェ クタの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の 原因となることがあります。 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の 掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。	基本操作
キャリングケースの取り	り扱いについて	×
()無理な扱いはしない	プロジェクタを入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのも のは入れないでください。 プロジェクタやキャリングケースが落下して、けがの原因となることがあ ります。	ニュ ー 操 作
		Ľ

7

お願い

ランプ取扱上の注意

プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。

ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯 状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や 使用条件によって差があり、本取扱説明書に記してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状 態に至ることがあります。

なお、指定の使用時間を越えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ラン プ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。

ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェ クタの通風口から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれています ので、破裂した場合は窓や扉を開けるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った りした場合には、速やかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラス片が散乱している可能性があります。プロジェクタ 内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず当社指定のサービス拠点、または販売店に依頼し、 お客様ご自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。 機器が故障する恐れがあります。

砂時計アイコンが出ているとき 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき(電源を切るとこのメッセージが 出ます。) 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後(POWERインジケータがオレンジ色に点灯しないとき) アフタークーリング(POWERボタンOFF後の90秒間ファン回転)終了直後 POWERインジケータとSTATUSインジケータが交互に一瞬点滅しているようなとき

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください 動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内 部の部品がいたみ、故障の原因となります。 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください 高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

スクリーンへの外光対策をしてください スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。 外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。

持ち運びについて

本機を持ち運ぶときは、添付のソフトキャリングケースを使用してください。その際、レンズに傷が付かな いように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクタ本体には強い衝撃を与えないでく ださい。

投写レンズ面は素手でさわらないでください 投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないで ください。また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。 スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

たばこの煙やほこりの多い場所での使用 たばこの煙やほこりの多い場所で使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。

廃棄について

本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

ĩĩ

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュ

L

操

ーー はじめに ー

次

目

ゴ体田の前に	2
必す守ってください	4
本書の説明について	.12
特 長	.13
梱包品の確認	.14
本体各部のはたらき	.15
レンズキャップの取り付けかた	15
盗難防止用ロックについて	16
本体操作部	17
接続端子・ビューワ部	18
リモコン各部のはたらき	.19
電池の入れかた	20
リモコンの有効範囲	20
プレゼンテーションリモコンキットを使う [別売品]	21
プレゼンテーションリモコン各部のはたらき.	21
プレゼンテーションリモコンの有効範囲	23
電池の入れかた	23
レーザーポインタの使いかた	24
マウスレシーバの使いかた	25
パソコンとの接続	25
プロジェクタモードとパソコンモードの切り換えかた	26

- 接続とセッティング-

セッティングの手順27
投写距離と画面サイズ28
(1.スクリーンとプロジェクタを置く)
接続
(2.パソコンやビデオデッキなどプロジェクタで映す機器を接続する)
DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続30
PC98-NXシリーズのパソコンとの接続31
PC-9800シリーズのパソコンとの接続32
(ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種)
Macintoshのパソコンとの接続33
DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続…34
ビデオ機器や書画カメラとの接続35
電源について
(3.電源コードを接続し電源を入れる)
1.電源コード(添付)を接続する
2.プロジェクタ電源の入 / 切37
電源を入れたときスタート画面が表示された場合38
投写画面の調整
(4.投写画面を調整する)
プロジェクタ角度調整のしかた40
パソコンの投写画面がうまく映らない場合…42

基本操作

入力の選択	43
画像を自動調整する	43
音量の調整	44
画像と音声を消去する	44
プロジェクタの操作説明を見る	44
映像を調整する	45
動画を静止画にする	45
表示モードの選択	45
投写画面の上下方向の台形歪みを調整する.	45
ポインタを表示 / 非表示 / 移動する	46
画像の拡大と移動	46

━━━ メニュー操作 ━

メニュー機能を使う前に47
オンスクリーンメニューの基本操作47
メニュー選択のしかた47
メニューを表示しているときの
CANCEL ボタンと ENTER ボタンのはたらき49
設定・調整のしかた50
調整/設定画面を表示しているときの
CANCEL ボタンと ENTER ボタンのはたらき51
オンスクリーンメニュー一覧52
入力選択
入力信号の選択54
ビューワツールバーの名称とはたらき54
映像調整・音量調整
映像の調整56
音量の調整56
画像調整
上下方向台形歪みの調整57
ランプモードの選択57
表示モードの選択58
ノイズを低減する58
画像の表示位置と周波数の調整59
アドバンスド・アキュブレンドの選択60
映像フィルタの設定60
調整データのリセット61
カラー調整
ガンマ補正の選択62
カラーマトリクスの選択62
ホワイトバランスの調整62

メニュー設定

表示させるメニューモードの選択63
ベーシックメニューを編集する63
メニューの表示言語を選択65
ポインタの種類を選択65
メニューの表示時間の選択65
入力端子表示のOn / Off66
無信号表示のOn / Off66
音量調整表示のOn / Off66
台形補正表示のOn / Off66
セットアップ
プロジェクタの投写方法を選択67
シネマモード時の画面位置を選択67
無信号時の背景色を選択67
マウスの設定68
ビューワ機能を設定する68
キャプチャの画像圧縮度を設定する69
信号モードの選択70
画像の自動調整71
自動で立ち上げる71
RGB入力端子無信号時に電源を切る72
電源を切るとき確認表示を出す
台形補正データを保存する
明るさ/色あいの選択
ランフ使用時間をクリアする
通信速度の設定
本体操作ホタンをロックする
ツールの機能
キャプチャ機能75
PCファイルを映す
バックグラウンドロゴ変更のしかた77
チョークホードの選択
ヘルプ
ヘルプを見る79
入力信号情報と機器情報を見る80
ランフ残量 / ランフ使用時間の表示について80
USBマウスの使いかた
USBマウスの接続81
USBマウスでメニューを操作する81
x フスカークルの衣示と非衣示について81 メニューの表示と非表示について 81
調整・設定表示の操作について
チョークボードの使いかた82

━━ ビューワを使う•

ビューワを使う前に	は
こんなことができます 84	Ľ
ビューワで映るようにするには	の に
コンパクトフラッシュカードの出し入れ 86	
添付ソフトウェアのインストール 87	
インストールをする	
添付ソフトウェアの内容	
添付ソフトウェアの起動	日
ビューワ専用ソフトウエア	-
[PC Card Viewer Utility 1.0]88	次
PowerPoint変換ソフトウェア	
[PC Card Viewer PPT Converter 1.0]88	
ビューワを使う	接
スライドを映す89	続レ
スライドを映す基本操作89	セ
ビューワツールバーを使って操作する	ッ
自動再生でスライドを切り換える91	テ
手動再生でスライドを切り換える	1
プロジェクタの表示画像をキャプチャ(保存)する93	グ
表示画像をコンパクトフラッシュカードに保存する93	-
キャプチャされた画像を見る94	
キャプチャされた画像を削除する	基
キャプチャされた画像をパソコンで削除・保存する96	本
デジタルカメラで撮影した画像を見る96	操
ファイル選択のしかた	1ĩ⊧

■お知らせとお願い —

性能維持
ランプ交換のしかた
インジケータ(LED)表示一覧表101
温度プロテクタについて101
故障かな?と思ったら102
お手入れについて103
仕 様104
付 録
投写距離と画面サイズ一覧105
対応解像度一覧107
RGB INPUT端子のピン配列と信号名108
関連商品108
外観図109
保証と修理サービス(必ずお読みください)…110
ViewLight CLUB 安心サポートシステム裏表紙

メニュー 操作

ビュー ワを使う

お知らせとお願い

説明書に記載の本体やリモコンの操作ボタン名とメニュー項目名の区別

説明文中に MENU ボタンや [機器設定]など操作ボタン名称やメニューの名称にカッコを付けています。プロジェクタ本体やリモコンの操作ボタンを表しています。

[].....メニュー表示の項目名や調整・設定名を表しています。

【記載例】



本機は添付のリモコンと別売品のプレゼンテーションリモコンを併用して説明しています。同じボタン名称は同じ働きをします が、プレゼンテーションリモコン特有のボタン説明はプレゼンテーションリモコンのマークを表記します。添付のリモコンでは 操作できません。また、市販のUSBマウスでの本機の操作説明はUSBマウスマークを表記しています。





軽量小型のDLP™モバイルプロジェクタ

DLP[™] 方式を採用し、キャビネットにはマグネシウム合金 を使用。軽さ約1.5kg・薄さ53mm(突起部含まず)とコ ンパクト化を実現した小さなプロジェクタです。

パソコン入力信号を自動調整

アナログRGB出力のDOS/V対応機やMacintoshなど他社 パソコン入力信号も自動調整。(調整しきれない機器もあり ます。)

アドバンスド・アキュブレンド機能により UXGAまでの解像度に対応

XGA(1024×764ドット)にフル対応、NEC独自のア ドバンスド・アキュブレンド機能によりUXGA(1600× 1200ドット)の入力信号までカバー。

動画もきれいに再生できるコンポーネント 入力に対応

RGB入力端子に別売のコンポーネントビデオ接続ケーブル (型名 VL-CA03V、またはADP-CV1)を接続すると、自 動判別機能によりコンポーネント信号に自動切り換え。 DVDやハイビジョン放送など16:9のワイドサイズ映像 もクリアなデジタル映像で再生(アドバンスド・アキュブ レンド機能により表示可能)。

わかりやすいメニューとオンラインヘルプ でらくらく調整

各種設定は、パソコンライクでわかりやすいプルダウンメ ニュー。アドバンストメニューとよく使う機能だけを表示 させるベーシックメニューの2モードメニュー。いつでも 操作説明が見られるオンラインヘルプのヒューマンインタ ーフェース。

ランプ出力にエコモード切換機能を搭載 省電力とランプ寿命の延長で維持費の節約。

プロジェクタに必須の台形歪補正には上下 方向を採用

設置時に画面が台形になった場合、リモコン(メニュー) を使って台形補正ができる上下方向台形歪補正機能を搭載。

プロジェクタだけでプレゼンテーションが できるビューワ搭載

コンパクトフラッシュカードに記録したプレゼンテーショ ン資料(パソコンで作成)、デジタルカメラで撮影した画像 のメモリカード再生*など、その場にパソコンが無くてもプ レゼンテーションが行えます。

(*再生できないメモリカードもあります。)

プレゼンテーションに威力を発揮する様々 な機能を搭載

部分拡大のデジタルズーム機能、数種類の矢印カーソルを 用意したポインタ機能(別売品のプレゼンテーションリモ コン使用時のみ)、市販のUSB対応マウスで本機のメニュ ー操作や画面に簡単な図が書けるUSB対応端子付。

(*USBマウスによっては使用できないものもあります)

*DLP(Digital Light Processing)、DMD (Digital Micromirror Device) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。

- *IBM, ATは米国International Business Machines, Corporation.の登録商標です。
- * Macintoshは米国Apple Computer Inc.の商標です。
- * Microsoft, Windows, PowerPointは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- *その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

アドバンスド・アキュブレンドについて

アドバンスド・アキュブレンドとは、パソコンの出力信号のドット数とプロジェクタのDMDパネルのドット数が一致しない場合(例:パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクタが1024×768ドット)や拡大表示する場合に、NEC独自のデジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示する技術です。

従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけでしたので、表の罫線が数本完全に消えてしまう・斜め線がギザギザになってしまう など見づらい点がありましたが、アドバンスド・アキュプレンドにより、そのような点が解消・軽減されました。 はじめに

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュ

Т

操

作

ビュ

Т

梱包品の確認



本体各部のはたらき



ヒモを図の様にレンズキ ャップの穴に通します。



にあるレンズキャップ用ヒモ固定用 穴に差し込みます。

プッシュリベット

レンズキャップ両側面の突起部を本体 のガイドに合わせそのまま押し込みま す。



(お)願)い)

運ぶときはレンズ保護のためレンズ キャップを付け、添付のソフトキャ リングケースに入れてください。

15

操作

ビュー ワを使う

お知らせとお願い

本機には内部温度センサーがついています。 |お|知|ら|せ| この温度センサーにより適切な速度でファン が回転します。ただし、内部の温度が上昇す ると自動的にファンが高速で回転します(高 速モード)。このとき、排気音が変化するこ スピーカ (モノラル) とがありますが、不具合ではありません。 吸気口 リモコン受光部 リモコン信号を受光します。 排気口(排気ファン) ランプの熱を排気します。 接続端子・ビューワ部 リアフット AC IN 端子 回すと高さの微調整ができます。 添付の電源コードを接続します。 スペーサ 盗難防止用ロック* 水平位置ガイド用のスペーサです。 調整のときは外します。 本体裏面 スペーサ リアフット 水平位置ガイド用のスペーサです。 回すと高さの微調整ができます。 調整のときは外します。 9 ランプカバー ランプ交換のときカバーを外します。 ランプカバーネジ リアフット

お知らせ

盗難防止用ロックについて

高さ調整できません。



盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応して います。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

> 日本ポラデジタル株式会社 第3営業部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル Tel:03-3537-1070 Fax:03-3537-1071



- POWER ON / STAND BY ボタン 本機の電源を入 / 切(スタンバイ状態)します。
 電源を切るときは、2秒以上押してください。
- STATUS インジケータ 光源ランプの交換時期がきたり、本機に異常が発生した ときに、点灯/点滅します。
 詳しくは101ページ「インジケータ(LED)表示一覧表」 をご覧ください。
- **3** POWER インジケータ
 電源が入っているときは緑色に点灯します。
 電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色
 に点灯します。
 詳しくは37ページ「プロジェクタ電源の入/切」をご
 覧ください。
- **4** SOURCE ボタン RGB、ビデオ、Sビデオ、ビューワの入力を切り換えます。 押すごとに | RGB ビデオ Sビデオ ビューワ-|

と切り換わります。 入力されていない信号は飛び越します。

5 AUTO ADJUST ボタン 映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整し ます。(41ページ参照)

- 6 PC CARD ACCESS インジケータ コンパクトフラッシュカードへのアクセス (データの読 み込み または 書き込み)中に点灯します。
- 7 ENTER ボタン メニューを表示しているときは、項目を決定します。 各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定 値を確定してメニュー表示に戻ります。
- 8 CANCEL ボタン メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。 各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値 を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。
- 9 SELECT ▼▲ ◀ ► / 音量調整ボタン
 メニューを表示しているときは、設定・調整したい項目を選択します。
 ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使います。
 メニューやポインタなどを表示していないときは、
 ▼▲ ボタンで音量が変わります。
 また、ビューワ表示中は ◀ ► ボタンでスライドを切り換えたり、フォルダ/スライド一覧のカーソルを移動します。

10 MENU ボタン 各種設定・調整のメニューを表示します。 基本

操作

メニュ

L

操

ſΈ

ビュ

Т

ワを使う

お知らせとお願

ĩ١



- 2 RGB INPUT 端子 (ミニD-Sub 15ピン) パソコン本体のアナログRGB出力端子や、DVDプレー ヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。
- **3** S-VIDEO INPUT 端子 (ミニDIN-4P) ビデオデッキなど映像機器のS映像出力端子と接続しま す。
- **4** VIDEO INPUT 端子 (RCA-フォノ) ビデオデッキなど映像機器の映像出力端子と接続しま す。
- **5** PCカード取り出し ボタン コンパクトフラッシュカードを出すときに押します。

- 6 PCカードスロット コンパクトフラッシュカードをセットするところです。
- 7 PC CONTROL 端子 (ミニDIN-8P) パソコンで本機をコントロールするときに使用します。 (工場出荷時にキャップが付いています。)
- 8 USB 端子
 市販のUSB対応のマウスでプロジェクタを操作すると
 きに接続します。
 (マウス以外のUSB機器は接続しないでください。)
- **9** AC IN端子 添付の電源コードを接続します。

お/知/ら/せ

音声の接続について ビデオ機器などステレオ信号(右・左)を本機に入力する場合はビデオ機器の左(モノ)端子と接続するか、市販のRCA フォノタイプのステレオ モノラル変換ケーブルをご使用ください。 市販のケーブルには、プラグの外形が大きいため挿入できないものもあります。 別売のRGBケーブル(VL-CA02MD または VL-CA10MD)のご使用をおすすめします。

リモコン各部のはたらき

- リモコン送信部
 赤外線によるリモコン信号が送信されます。
 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 2 POWER ボタン 本機の電源を入 / 切(スタンバイ状態)します。 電源を切るときは、2秒以上押してください。
- 3 入力選択 RGB / VIDEO / S-VIDEO ボタン RGB、ビデオ、Sビデオの入力を切り換えます。 (43ページ参照)
- 4 AUTO ADJ. ボタン
 映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。(43ページ参照)
- **5** MAGNIFY + / ボタン 映している画面の拡大・縮小(元に戻す)をします。 (*46ページ参照*)
- **6** VOLUME + / ボタン 音量を調整します。(44ページ参照)
- 7 PICTURE ボタン 明るさ・コントラストなど各種映像調整項目を表示しま す。(45ページ参照)
- 8 FREEZE ボタン 表示されている画像が静止画となります。 もう一度押すと戻ります。(45ページ参照)
- **9** ASPECT ボタン アスペクト設定画面を表示します。 ボタンを押すごとにアスペクト比を切り換えます。 (45ページ参照)
- 10 MUTE ボタン
 映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。
 (メニュー表示中に押した場合は、映像と音声は消えますが、
 メニューは消えません。)
- **11** MENU ボタン 各種設定・調整のメニューを表示します。
- **12** HELP ボタン ヘルプを表示します。(44ページ参照) 各種調整・設定画面を表示しているときは、選択してい る項目のヘルプを表示します。



13 SELECT ▼▲◀► ボタン

メニューを表示しているときは、設定・調整したい項目 を選択します。

画面拡大中は表示位置の調整に使います。

また、ビューワ表示中は **◀**▶ ボタンでスライドを 切り換えたり、フォルダ / スライド一覧のカーソルを移 動します。

14 ENTER ボタン

メニューを表示しているときは、項目を決定します。 各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定 値を確定してメニュー表示に戻ります。

15 CANCEL ボタン

メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。 各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値 を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。 はじめに

目

次

ίì

作

電池の入れかた

1 図のようにリモコン裏面の電池 2 ケース内部の表示通りに+、- 3 もと通りふたを戻します。 ケースのふたを外します。 の向きを合わせて入れます。



電池を交換するときは2本とも同じ種類の単三乾電池をお買い求めください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受 信できます。

リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



【水平方向の受光範囲】 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。



リモコン使用上のお願い 本体のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい 光が当たっていたり、途中に障害物があって信号 がさえぎられていると動作しません。 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向 けて操作してください。

リモコンの取扱について

リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。 リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合は、 すぐにふき取ってください。 できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。

できるにけ熱や湿丸のないところで使用してくにさい。

長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

プレゼンテーションリモコンキットを使う[別売品]

別売品のプレゼンテーションリモコンキット [PR51KIT]の機能説明です。

主要操作がダイレクトにできる機能ボタン、パソコンのマウス操作ができるマウスコントロール機能、ピンポイントでス クリーンの説明箇所を指すことができるレーザーポインタ機能のついたプレゼンテーションに便利なリモコンキットです。

PR51KI	Tの内容物
--------	-------

リモコン(送信機)RD-382	1個
乾電池(単三)	2本
取扱説旧書(保証書会お)	1枚

PS/2アダプタ1個 マウスレシーバ(受信機)......1個

プレゼンテーションリモコン各部のはたらき 1 リモコン送信部 リモコン信号を赤外線で逆 2 レーザー発光部 レーザーポインタの光を出 3 1 2 レーガー発光部 レーザーポインタの光を出 3 1 2 アージー発光部 レーザーポインタの光を出 3 リモコンケーブル接続 本機では使用できません。 4 リモコン送信中ランフ 赤外線送信中、またはレー 5 POWER ON ボタン スタンバイ時(POWER4



Apple社製Macintoshを使用している場合は、 CANCEL (右クリック)と ENTER (左 クリック)は同じ働きをします。

お知らせ

本リモコンは、同じボタンが1分以上押されたままに なると、ボタン操作ができなくなります。これは省電 力機能が働いているためで、故障ではありません。 この状態を解除するには、SELECT ▼▲◀► (マウス)ボタン以外のボタンを押してください。

1	リモコン送信部
-	リモコン信号を赤外線で送信するところです
2	ノーザー発光部
-	レーザーポインタの光を出すところです
3	レージーが「シンのルを出すこと」とす。
U	
Л	平機では使用できなせた。 リエコンパギ(合由ニンパ
4	
5	亦外線送信中、またはレーザー発光中は赤いフンノか点灯します。
J	POWER ON ホタン
	スタンバイ時(POWERインジケータがオレンジ色に点灯)に本機の電
G	源を入れます。
0	POWER OFF ホタン
-	本機の電源を切ります(スタンバイ状態) 2秒以上押してください。
1	VIDEO ボタン
•	ビデオ入力を選択します。
8	S-VIDEO ボタン
_	Sビデオ入力を選択します。
9	RGB 1 ボタン
	RGB入力 (または コンポーネント) を選択します。
10	RGB 2 ボタン
	本機では使用できません。
11	AUTO ADJ. ボタン
	映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。
	(43ページ参照)
12	LASER ボタン
	レーザーポインタが発光します。
13	MENU ボタン
	各種設定・調整のメニューを表示します。
14	SFLECT ▼▲◀▶ (マウス)ボタン
••	パソコンモードのとき パソコンのマウスとして動作します
	(26ページ参昭)
	(こ) マシシボリ プロジェクタモード (PJ ボタン 17 が赤く点灯)のとき
	メニュー操作やポインタ移動 MAGNIFY ボタンを使った画面拡大
	時の表示位置調整に使います。
15	FNTFR (左クリック)ボタン
	パソコンモードのとき、マウスの左ボタンの動作をします。
	1.5秒以上押すとドラッグモードになります。(26ページ参昭)
	プロジェクタモードのとき、メニューを表示しているときは、項目
	を決定します。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設
	定値を確定してメニュー表示に戻ります。
16	CANCEL (右クリック)ボタン
10	パリコンモードのとき マウスの右ボタンの動作をします
	プロジェクタモードのとき、メニューを表示しているときけ、メニ
	ューを閉じます。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設

定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

接続とセッティング 基本操作 メニュー操作 ビューワを使う

はじめに

目次

お知らせとお願

ĩĩ





32 リモコンモードスイッチ レーザー光の有効/禁止を設定します。 リモコンの電池ケースフタを開けるとあります。 (24ページ参照) 17 PJ ボタン

SELECT ▼▲◀▶ ボタン、 CANCEL ボタン、 ENTER ボタンの動作をプロジェクタモードに切り換えます。プロジェクタ モードのときは赤く点灯します。

もう一度押すとパソコンモードに戻ります。(26ページ参照)

- **18** FOCUS ボタン 本機では使用できません。
- **19** ZOOM ボタン 本機では使用できません。
- **20** SHIFT ボタン 本機では使用できません。
- 21 HELP ボタン ヘルプを表示します。(79ページ参照) 各種調整・設定画面を表示しているときは、選択している項目のヘ ルプを表示します。
- **22** POINTER ボタン ポインタを表示します。画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置 の調整ができます。(46ページ参照)
- **23** KEYSTONE + / ボタン 画面の台形歪みを調整します。(45ページ参照)
- **24** MAGNIFY + / ボタン 画面の拡大・縮小(元に戻す)をします。(46ページ参照)
- **25** FREEZE ボタン 表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。
- **26** PIC-MUTE ボタン 映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。 (メニュー表示中に押した場合は、映像と音声は消えますが、メニ ューは消えません。)
- **27** VOLUME + / ボタン 内蔵スピーカの音量を調整します。
- 28 PC CARD ボタン ビューワを表示します。
- **29** SLIDE + / ボタン ビューワのスライド画面の切り換えや、フォルダ/スライド一覧表 示のカーソル送りに使います。(89ページ参照)
- **30** FOLDER LIST ボタン コンパクトフラッシュカードに保存されたフォルダー覧を表示しま す。(91ページ参照)
- **31** SLIDE LIST ボタン コンパクトフラッシュカードに保存されたスライド一覧を表示しま す。(91ページ参照)

お知らせ

SELECT ▼▲◀▶ ボタン、CANCEL ボタン、ENTER ボタンは通常パソコンモードになっていますが、POWER ON/OFF ボタン、 MENU ボタン、 POINTER ボタン、 HELP ボタン、 MAGNIFY ボタン、 PC CARD ボタン、 FOLDER LIST ボタン、 SLIDE LIST ボタンを押すと、自動的にプロジェクタモードになります。その後、約10秒間ボタ ン操作をしないとパソコンモードに戻ります。(26ページ参照)





リモコンからピンポイントで説明したいところを指すことができるため、 プレゼンテーションが効果的に行えます。

LASER ボタンを押すとリモコン先端からレーザー光(赤い光)が出ます。 LASER ボタンから指をはなすとレーザー光が消えます。



OFF ON

レーザーの発光を禁止する場合 電池ケースの底に、レーザー光の有効/禁止スイッチがあります。 レーザーを禁止するかをお決めの上、必要に応じて「2のスイッチ」 を細いボールペンの先などを使って設定してください。 工場出荷時は有効に設定されています。 なお、スイッチ1は適応プロジェクタの設定ですので切り換えないで ください。 ON側 ……有効(LASERボタンを押すとレーザーが発光します。) 【工場出荷時設定】 OFF側 ……禁止(LASERボタンを押してもレーザーは発光しません。) 子供が使用できる環境に置かれる場合、レーザーを禁止に設定して

ください。



パソコンを操作するとき

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。





USB端子に接続の場合

PC98NXシリーズ、DOS/V対応機の場合はWindows98/Me/2000以外のOSではご使用になれません。 マウスレシーバの抜き差しは、5秒以上間隔をおいて行ってください。瞬間的な抜き差しを繰り返すと、パソコンがマウ スレシーバを正しく認識できないことがあります。 ビュ

L

ワを使う

お知らせとお願

ĩĩ



プロジェクタモードとパソコンモードの切り換えかた

PJ ボタンを押すとボタンが赤く点灯して、マウス機能ボタンがプロジェクタのメニュー選択などで使うSELECT, CANCEL, ENTERボタンのはたらきに変わります。……プロジェクタモード

PJ ボタンが消えているときや再び押して消したときはマウス機能ボタンのはたらきになります。.....パソコンモード

マウス機能ボタン以外のボタンはプロジェクタ / パソコンモードには関係なくプロジェクタの操作ボタンになります。

PJ ボタンを押して10秒間ボタン操作をしないとランプが消えマウス機能ボタンになります。

POWER ON/OFF ボタン、 MENU ボタン、 POINTER ボタン、 HELP ボタン、 MAGNIFY ボタン、 PC CARD ボタン、 FOLDER LIST ボタン、 SLIDE LIST ボタンを押したときは自動的に PJ ボタンが点灯し マウス機能ボタンがプロジェクタモードになります。



ドラッグモードについて

パソコンモードのとき ENTER (左クリック)ボタンを1.5秒以上押し続けてから離すとドラッグモードになります。 そのままSELECT ▼▲◀▶ (マウス)ボタンを押すとドラッグ操作ができます。 ドラッグモードを解除するには、 ENTER (左クリック)ボタンか CANCEL (右クリック)ボタンを押します。

セッティングの手順

プロジェクタはスクリーンに映像を映します。このため、スクリーンの位置決めをし、映像を出力する機器 をプロジェクタに接続する必要があります。



- 1 スクリーンとプロジェクタを置く(「投写距離と画面サイズ」28ページ参照) スクリーンの大きさはプロジェクタとスクリーンの距離に関係します。プロジェクタのレンズ面はスクリーンに向け て置いてください。(詳しい投写距離と画面サイズ一覧は105ページをご覧ください。)
- 2 パソコンやビデオデッキなどをプロジェクタに接続する 迫力ある音声を聞くときは、パソコンやビデオデッキの音声出力をお手持ちのオーディオアンプと接続してください。

 DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続
 (30ページ参照)

 PC98-NXシリーズのパソコンとの接続
 (31ページ参照)

 PC-9800シリーズのパソコンとの接続(ディスブレイ端子がミニD-Sub 15ビンと異なる機種)(32ページ参照)

 Macintoshのパソコンとの接続
 (33ページ参照)

 DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続
 (34ページ参照)

 ビデオ機器や書画カメラとの接続
 (35ページ参照)

- 3 電源コードを接続しプロジェクタの電源を入れる(「電源について」36ページ参照)
 メニュー表示などの言語を選択する(ご購入後はじめて電源を入れたときのみ 38ページ参照)
- 4 投写画面を調整する(「投写画面の調整」39ページ参照) パソコンやビデオデッキなどの電源を入れ、スクリーンに映して投写画面の大きさや位置、フォーカス(ピント)を 調整します。

はじ

めに

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュー

操作

ビュ

Т

ワを使う

お知らせとお願

ĩĩ

投写距離と画面サイズ

1 スクリーンとプロジェクタを置く

1 図を参照して画面の大きさとプロジェクタの置く位置を決めます。 使用するスクリーンとプロジェクタとの位置関係の目安は下図を参照してください。

【例】60型のスクリーンに投写したい場合は図より2.6m離して置きます。



この図はズームレンズがテレとワイド(ズーム比1:1.2)の中間位置のときの投写距離です。 ズームレンズをテレ(画面が小さくなる)またはワイド(画面が大きくなる)に操作することにより画面の大きさが約± 10%調整できます。

2 スクリーンを置く高さを決めスクリーンを設置します。

【例1】60型のスクリーンに投写したい場合のスクリーンを設置する位置は、 図より、プロジェクタ底面からスクリーン上端までの高さが約110cmの位置が最適となります。

【例2】天井の高さが220cmの場合は120型のスクリーンに映せることになります。



【プロジェクタ底面からスクリーン上端までの高さ】

この図はズームレンズがテレとワイド(ズーム比1:1.2)の中間位置のときのスクリーン上端までの高さです。 図はチルトフットを縮めてプロジェクタを水平にしたときの寸法です。なお、プロジェクタのチルトフットの 調整により上に5°の調整ができます。(「プロジェクタ角度調整のしかた」40ページ参照) 投写角度を大きくすると投写画面が台形になります。このときは[台形補正]で調整してください。(「上下方 向台形歪みの調整」57ページ参照) はじめに

お知らせ

常時設置する場合は、105ページの「付録・投写距離と画面サイズ一覧」を参照してください。

2 パソコンやビデオデッキなどプロジェクタで映す機器を接続する

DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)とプロジェクタ側のRGB INPUT端子とを添付のRGB信号ケー ブルで接続します。

【DOS/V、IBM PC/AT互換機ノートパソコン】



お願い

接続するときはパソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。



音声をヘッドホン端子と接続する場合

接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンに ミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合 別売のマルチシンク10mケーブル(型名 VL-CA10MD)をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信 号分配器(型名 VL-DA102)の使用をおすすめします。

PC98-NXシリーズのパソコンとの接続

パソコン側のアナログRGB出力端子(ミニD-Sub15ピン)とプロジェクタ側のRGB INPUT端子とを添付のRGB信号ケ ーブルで接続します。

【PC98-NXシリーズノートパソコン】



(お)願)い)

接続するときはパソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。



音声をヘッドホン端子と接続する場合

接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンに ミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合 別売のマルチシンク10mケーブル(型名 VL-CA10MD)をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信 号分配器(型名 VL-DA102)の使用をおすすめします。

お知らせとお願

ĩĩ

はじ ŏ

に

PC-9800シリーズのパソコンとの接続(ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種) パソコン側のアナログRGB出力端子がミニD-Sub15ピンでない場合はPC-9800シリーズの別売品が必要となります。





ディスプレイケーブルコネクタ変換アダプタPC-9821-K13(別売)

|お|知|ら|せ|

PC-9800シリーズノートパソコンの場合

PC-9821Nrシリーズ以降のノート型パソコンの場合、機種によってはミニD-Sub15ピンのアナログRGB出力端子を 持つポートバー、またはファイルベースなどを接続する必要があります。

PC-9800シリーズデスクトップパソコンの場合

D-Sub15ピンのPC-9800シリーズと接続する場合は、旧9800シリーズ用ディスプレイケーブルコネクタ変換アダプ タPC-9821-K13(別売)を使用してください。(H98sを含む)

Macintoshのパソコンとの接続

Macintoshを接続する場合、プロジェクタに適したモードはXGAモードの1024×768ドットの設定です。 Macintosh側がこのモードに対応している場合、Macintosh側の表示解像度をこの設定にすることを推奨します。 Macintoshの表示解像度の設定はパソコンの取扱説明書をお読みになるか、メーカーへお問い合わせください。



Т

ビュ

L

はじ

あ

に

DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

DVDプレーヤの色差出力端子(DVD映像出力)を使って本機で映すことができます。

通常は自動でRGBとコンポーネントを判別して切り換えますが、判別できない場合は、本機のメニューから[セットアップ] [ページ3] [信号選択]の設定画面でRGB信号を[コンポーネント]に設定してください。(70ページ参照) DVDプレーヤの音声はオーディオ機器と接続してください。



ントビデオ変換アダプタ(品番 ADP-CV1)で接続します。 なお、メニューの[カラーマトリクス]の設定画面でマト リクス選択を[HDTV]に、マトリクスタイプを[Pb/Pr] に設定してください。



(市販品:RCA×3)

コンポーネントビデオ変換アダプタ

(別売品:ADP-CV1)

ビデオ機器や書画カメラとの接続

DVDプレーヤ、ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映します。市販のケーブルをご使用ください。 また、市販の書画カメラをVIDEO端子またはS-VIDEO端子に接続すると、会議場でのプレゼンテーションなど手もとの資 料を画面表示することができます。



こテオ機器の自声をフロシェクタの内蔵スピーカから出り場合 市販のフォノピン(2プラグ) ミニプラグ変換ケーブルをお求めください。

お/知/ら/せ

当社製のISS-6020JとISS6010Jのビデオデコード出力には対応していません。 スキャンコンバータなどを介してビデオを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。 はじめに

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操

Ϋ́F

ビュ

L

ワを使う

お知らせとお願

ĩĩ

3 電源コードを接続し電源を入れる

1 電源コード(添付)を接続する

プロジェクタのAC INとAC 100V アース付のコンセント(アース工事済み)と添付の電源コードで接続します。 電源コードを接続するとプロジェクタのPOWERインジケータがオレンジ色に点灯します(スタンバイ状態)。



機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。 アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースをはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



お願(1)

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。 機器が故障する恐れがあります。

砂時計アイコンが出ているとき

「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき(電源を切るとこのメッセージが出ます。) 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後(POWERインジケータがオレンジ色に点灯しないとき) アフタークーリング(POWERボタンOFF後の90秒間ファン回転)終了直後 POWERインジケータとSTATUSインジケータが交互に一瞬点滅しているようなとき

また、 PC CARD ACCESS インジケータが点灯しているとき(ビューワ機能を使用中)に電源を切ったり、電源プラ グをコンセントから抜くとコンパクトフラッシュカードが破損します。


電源を入れる前にレンズキャップを外してください。

2 プロジェクタ電源の入 / 切

プロジェクタのPOWER ON/STAND BY ボタンとリモコンの POWER ボタンは同じはたらきをします。

電源を入れるとき

プロジェクタのPOWER ON/STAND BY ボタンを押すと電源が入ります。 しばらくすると(約30秒)スクリーンが明るくなります。信号が入力されて いないとき工場出荷時は青い画面が表示されます(ブルーバック)。

ご購入後はじめて電源を入れた場合はスタート画面が表示されます。 詳しくは次ページをご覧ください。

ランプノーマル

【電源ON時のインジケータ表示の流れ】

Ħ

次

接続とセッティング

基本

· 操 作



作

ビュ Е ワを使う

お知らせとお

願

L١







1分間点滅

点灯に変わる

|お|知|ら

電源ON後、ランプが安定して点灯するまで(3~5分)に映像がちらつく場合が あります。これはランプの特性上発生するもので、故障ではありません。 ランプモードは「ノーマルモード」「エコモード」の設定に関係なく、電源ON後 はノーマルモードで起動します。エコモードに設定している場合は、POWER インジケータが1分間緑色に点滅した後、エコモードに切り換わります。

電源を切るとき

プロジェクタのPOWER ON/STAND BY ボタンを2秒以上押し続けると 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示され、しばらくすると電 源が切れPOWERインジケータがオレンジ点灯に変わります。

【電源OFF時のインジケータ表示の流れ】



電源コードを抜くときは、POWERインジケータがオレンジ色に点灯していること をご確認ください。

インジケータ表示が上記以外の点滅をしている場合は101ページをご覧ください。



電源が入らないとき

内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源 を入れてください。

ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用した場合は電源が入りません。

STATUSインジケータが点滅(6秒点灯/6秒消灯)している場合はランプエラーで、ランプが点灯しません。90秒以 上待って再度電源を入れてください。

電源を入れたときスタート画面が表示された場合

ご購入後、はじめて電源を入れたときはスタート画面が表示されます。以下の手順に従って、プロジェクタの表示言 語を選択してください。







チルトフットは、プロジェクタの角度調整をする以外 の用途には使用しないでください。 チルトフット部分を持って運んだり壁にかけて使用す

るなどの誤った取り扱いをすると、機器が破損する恐 れがあります。

画面の歪みを調整する場合

スクリーンがよじれていたりそっていると投写画面が歪みますので平らに設置されていることをご確認ください。





これでプロジェクタのセッティングが終わりました。

電源を切る場合は37ページの「電源を切るとき」をご覧ください。



パソコンの投写画面がうまく映らない場合

パソコンを接続して投写する際の、ケーブル接続とパソコン起動の手順や、パソコン起動後の操作など、あらかじめ必 要な知識について説明します。うまく映らないという場合にチェックしてみてください。

パソコンの起動は.....

パソコンとプロジェクタを接続してからパソコンを起動してください。

特にノート型パソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。 【参考】プロジェクタのメニューの[ヘルプ] [情報]の水平同期周波数が「0KHz」表示の時は、パソコンから外 部出力信号が出ていません。(80ページ参照)

パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノート型パソコンの場合、起動しても、外部出力信号を出力させるために更に操作が必要な場合があります。 (ノート型パソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)

【参考】外部出力させる操作の例

- ・ PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機(PC/AT 100%互換機)の場合:
- Fn キー + 「 F1 ~ F12 キーのいずれか(機種によって異なります)」を押す。
- ・ Nrシリーズ以降のPC-98ノートの場合:「サスペンドレジューム」スイッチを押す。

ノート型パソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノート型パソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。 多くの場合、ノート型パソコンの制約により同時表示(パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合)の 際は、周波数などが標準的規格に合った信号を出力できない場合があり、この際の外部出力信号が、プロジェクタで対応できる範囲の信号から大きくはずれている場合、調整を行っても正常に表示がされない場合があります。 そのようなときはノート型パソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする(または液晶パネルを閉じると、 このモードになる場合が多い)操作を行うと外部出力信号が標準的規格に合った信号になる場合があります。

Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintoshおよびプロジェクタがサポートしている表示モード以外の設定を、ディップスイッチで設定した場合、表示が乱れたり、なにも表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshをリスタートしてください。その後表示可能なモードに変更して、再度リスタートさせてください。

PowerBookとプロジェクタを同時に表示させる場合

PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を"切"にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

以前に接続していたディスプレイがプロジェクタより高い解像度で使用し、フォルダなどが隅にあった場合は切れたり 隠れたりします。このような場合はMacintoshのファインダー画面で「option」キーを押した状態で「ウインドウの 整頓」を選択してください。隠れたフォルダが画面内に移動します。

基本操作

プロジェクタの電源が入っている状態でのボタン操作説明です。 電源のON/OFFは34ページ「プロジェクタ電源の入/切」をご覧ください。

	入力の選択 プロジェクタに映す機器の選択で、プロジェクタの入力端子が選択されます。	じめに
AUTO ADJ. MAGNIFY VOLLIME PICTURE FREEZE MUTE ASPECT MENU HELP VOLLIME	設定により入力端子表示をしばらく表示します。 (66ページ参照) RGB VIDEO S-VIDEO	目 次 接
ENTER CANCEL RD 972E	VIDEO S-VIDEO RGB1 PC CARD のボタンから直接入力を 選択します。 (プレゼンテーションリモコンのRGB2ボタンは本機では使用しません。 また、PC CARDはビューワ選択のことです。)	(続とセッティング
	信号が入力されていない場合は、飛び越します。 DVDプレーヤなどコンポーネント信号の機器をRGB INPUT端子に接続していて正常に 映らない場合は、70ページ「信号モードの選択」をご覧ください。	

画像を自動調整する

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。



押すと自動調整を開始します。

自動調整する症状は..... 表示位置がずれているとき (水平/垂直位置の調整) 縦帯状の明暗が出ているとき (ク ロック周波数の調整) 極端に色ズレやチラツキが出ているとき(位相の調整)。

画像によっては正しく表示されない場合や信号を切り換えたとき表示までに時間がかか る場合があります。このような場合は手動で画像調整を行ってください。(59,71ペー ジ参照) RGB INPUT端子にコンポーネントを入力している場合は動作しません。

(お/知/ら/せ/

バックグラウンドについて

接続機器の電源が切れているときや入力信号がないときは「バックグラウンド」で選択されている画面(ブルーバック/ ブラックバック / ロゴ)が映ります。

パソコン接続時に画面が映らなくなったとき

「パワ - マネージメント」がONに設定されているとき、5分間RGB信号入力がないと自動的にスタンバイ状態になります。 パソコン接続時、画面に何も映らなくなったときは、パソコンのスクリーンセーバーかパワーマネージメント機能が働い ている可能性もあります。

メニュ

L

操 **۴**F

ビュ

Т

ワを使う

お

知らせとお願

ĩĩ

1+



画像と音声を消去する

画像と音声を一時的に消すときに使用します。(メニュー表示は消去しません)



) 画像と音声が消えます。 ・
もう一度押すと画像と音声が出ます。

プロジェクタの操作説明を見る

メニューの操作方法やプロジェクタの調整 / 設定方法が書かれています。



映像を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、色相、シャープネスを調整します。



押すと映像調整画面が表示されます。(詳しくは56ページをご覧ください。) 3秒間ボタン操作がないと、映像調整画面は自動的に消えます。

動画を静止画にする

ビデオ映像などの動画を止めてじっくり見るときに使います。



押すと静止画になります。 もう一度押すと動画に変わります。 FREEZE ボタンを押すと静止画メモリに記録した画像を映しますの で動画はそのまま進みます。

表示モードの選択 画面サイズを設定します。



押すとアスペクト設定画面を表示します。 押すごとに ノーマル ズーム ワイドズーム シネマとくり返し変わり ます。SELECT ◀/▶ ボタンでも切り換えることができます。 (詳しくは58ページをご覧ください。) 3秒間ボタン操作がないと、アスペクト設定画面は自動的に消えます。



投写画面の上下方向の台形歪みを調整する

プロジェクタとスクリーンが斜めに(上下方向)なっていると台形の歪みが生じます。この歪み調整に使います。



+ または - 側を押して を右が平行になるように 調整します。



正常状態

台形歪補正値を保存しておくことができます。(73ページ参照) 投写角を中心として+/-30度範囲で台形補正できます。 ただし、本機の表示画素数以上の解像度の信号を表示した場合、補正可能範囲が狭くなることがあります。 台形補正表示は3秒間ボタン操作がないと閉じます。

[メニュー設定]の[台形補正バー]が非表示に設定されているときは表示が出ません。(66ページ参照)

はじ

め

に

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュー

操

ſΈ

ビュー

ワを使う

お知らせとお願

ĩĩ



ポインタの形状はメニューの[メニュー設定]の設定画面で選択できます。(65ページ参照) POINTER ボタンを押すと PJ ボタンが点灯し、パソコンのマウス機能ボタンがプロジェクタ操作用 の SELECT CANCEL ENTER に変わります。10秒間ボタン操作をしないと、パソコンのマウス 機能のボタンに戻ります。(26ページ参照)

画像の拡大と移動

最大4倍まで拡大表示できます。

1 拡大する



2 戻す



 目的の部分を直接拡大表示できます。
 1. POINTER ボタンを押してポインタを出す。
 2. SELECT ボタンで拡大したい部分へポインタを移動する。
 3. MAGNIFY + ボタンで拡大する。 ポインタが[Q]に変わりポインタの位置を中心に拡大します。

メニュー機能を使う前に

プロジェクタの調整や設定項目はたくさんあります。目的の調整や設定がすばやくできるように目次を設けて、その中から しぼりこんで探して行く方法をメニュー操作と呼び、画面上に表示しているメニューをオンスクリーンメニューと言います。 本機は2モードメニューです。

アドバンストメニュー…………全てのメニュー項目を表示します。

ベーシックメニュー……………お客様独自のメニュー項目を表示します。工場出荷時は基本的なメニュー項目が登録 されています。登録内容を変えるには、63ページ「ベーシックメニューを編集する」をご覧ください。

オンスクリーンメニューの基本操作

メニュー操作の選択や確定などのしかたを説明しています。メニュー操作中わからなくなった場合にご覧ください。 オンスクリーンメニューの基本操作はベーシックメニュー(工場出荷時状態)で説明しています。



リモコンはプロジェクタの リモコン受光部に向けて操 作してください。



メニュー選択のしかた

1 メニューを表示する



ペーシックメニュー 信号選択 → 映像調整 音量 画像設定 → 機器設定 → ツール → ヘルプ → アドバンスト メニューヘ

MENU ボタンを押してから45秒間(工場出荷時)操作をしないとメニューが 自動的に消えます。

MENU ボタン、ENTER ボタン、CANCEL ボタン、SELECT ◀ / ► ボタンのいずれかを押すと、消える前に表示していた状態のメニューが表示されます。

時間は[機器設定] [メニュー設定]の設定画面の[表示時間]で選択できま す。(65ページ参照) はじ

め

に

目

次

接続とセッティ

ング

基本操作

あ知らせ

インターレース信号の動画を映しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、画面が乱れる場合があります。

2 メニュー項目を選ぶ



SELECT / ボタンでカーソルを移動してメニュー項目を選択します。

[▶]のあるメニュー項目はサブメニューがあることを示します。カーソルを合わせるとサブメニューを表示します。
 [▶]の無い項目は ENTER ボタンを押すと調整画面/設定画面の表示に変わります。(SELECT ▶ ボタン を押しても調整画面/設定画面に変わります。)
 白文字の項目は選択できません。





・ 操 作

ビュー ワを使う

お知らせとお願い

設定・調整のしかた

【調整表示例】

【設定表示例 1】

プルダウン選択

トを表示します。

SELECT /

います。

いくつも項目のある調整表示での項目の選択は SELECT / ボタンで行います。図は [コントラスト]が選択されています。 SELECT ◀ / ▶ ボタンで調整します。 [コントラスト]調整表示例では SELECT < ボタンを押し続けると映像が淡 くなります(調整バーが短くなります)。 SELECT ボタンを押し続けると映像が濃 くなります(調整バーが長くなります)。





ラジオボタンの選択

どれか1つが選択できる設定がラジオボタン ()です。

カーソルがラジオボタン選択の項目に移ると現 在設定されている内容にカーソルが移動しま す。

SELECT ◀ / ▶ ボタンで目的の内容にカ -ソルを合わせると同時に()のラジオボタン が付きます。



【設定表示例 2】

ページタブ

数ページの設定項目がある場合に表示されます。 SELECT / ボタンを数回押してページタブに カーソルを合わせます。

SELECT ◀ / ▶ ボタンで目的のページにカーソル を合わせるとページが切り換わります。

チェックボタン

いくつも選択できる設定がチェックボタン(✔)です。 SELECT / ボタンを押してチェック項目にカ ーソルを合わせます。設定したい箇所で ENTER ボ タンを押すとチェックマークが入ります(チェックマ ークが入っている場合は消えます)。

設定ボタン

ボタンにカーソルを合わせて ENTER ボタンを押す とさらに設定表示が出ます。 ボタンで項目を選択します。

SELECT /

確定ボタン

設定内容を確定する場合に使います。 SELECT / ボタンを数回押してカーソルを [確定]に合わせ、 ENTER ボタンを押すと設定内容 を確定し、メニュー表示に戻ります。

取消ボタン

設定内容を取り消す場合に使います。 SELECT / ボタンを数回押してカーソルを [取消]に合わせ ENTER ボタンを押すと設定内容 を取り消しメニュー表示に戻ります。 CANCEL ボタンを押しても同じ動作をします。







はじ

あ

に

E

次

接続とセッティング

基本

操作

メニュ

L

操

ſΈ

ビュ

Т



Addition Control (Control (Contr)		
合形権止調整表示 (57ページ参照) ノーマルレード/エコモード (57ページ参照) アスペクト ノーマル/ズーム/ワイドズーム/シネマ ノイズUダクション オフ/弱/中/強 位置・周波数 (水平/重重/クロック周波数/位相)調整表示 解像度 フル/リアル ビデオ帯域フィルタ 動作/車動作 をデータ/表示中の信号 (61ページ参照) マトリクス運飛(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス運飛(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス運用(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス運用(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス運用(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス運用(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス運用(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクスラストG/コントラストB/ (62ページ参照) スレラモード(アドパンスト/ペーシック) (62ページ参照) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ2 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ2 メニューモード(アドパンスト/ページック) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ページック) ページ2 メニューモード(ア・パンスト/マク) ページ3 振信号(表示/単表) メニューモード(ア・パンスト/マク) (オンパ・ボンク) マンコン ノンボート(大田/アロ) マン ノンボート(大田/アロ) ダイレクト(アロ)		
フィルレードアメコオード (5/パージシボボ) アスペクト ノーマル/ズーム/ワイドズーム/ジネマ ノイズリダクション オフ/第/中/強 位置・周波数 (水平/車直/クロック周波数/位相)調整表示 客線度 フル/リアル ビデオ帯域フィルタ 動作/非動作 全データ/表示中の信号 (61ページ参照) パーマル/ズーム/ワイドズーム/ジネマ (クロック周波数/位相)調整表示 マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス導入(J・ナコラル/ブチョラル2) (62ページ参照) マトリクス薄沢(HDTV/SDTV) (62ページ参照) (明るさR/明るさG/明るさB/コントラストR/ コントラストG/コントラストB)調整表示 (62ページ参照) ペジロクトボタンちると「加きた」、パインクキントラストA (62ページ参照) ボージャンパンスト/ハーシック) ページロクク周波表示 ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページ2 メロージートが設定(ホーキャンク) ページ3 ビデオ(地帯を示、(表示/非表示)) ボビジーマンジンンンン(デスパリンマン・ノステム) ジェアボージン(アンボーン) パンク・(ボインク) デスボジンシン(シンシン) パンク・(ボインク) デスボジンシン) パンク・(ボインク) デスボジンシン) パンク・(ボインク) ボンク・(ボインク) ボージンクシンシン ボージンクシン パンク・(ボークン) デスジンクシン		
アスペクト ノーマル/ズーム/ワイドズーム/シネマ ノイズUダグション オフ/弱/中/強 22: 月次数 マル/リアル 25: 万水/リアル 25: 東京市場フィルタ 動作/非動作 25: シーマル/ナチュラル/ナチュラル/ナチュラル2 (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) ペジオ) メニューモド(アドバンスト/ペーシック) ベージカ(ボインタイ) (62ページ参照) ページカ(ボインタイ) (62ページ参照) ページオ) メニューモド(アドバンスト/ペーシック) ベージカ(ボインタイ) (71/201/100000000000000000000000000000000		
オンクタッション オフ/協/中/通 立置・周波数 "歳少数/位相)調整表示 "(水平/重直/クロック周波数/位相)調整表示 "(水平/重直/クロック周波数/位相)調整表示 "(水平/重直/クロック周波数/位相)調整表示 "(水平/重直/クロック周波数/位相)調整表示 "(ホーノ重直/クロック周波数/位相)調整表示 "(ホーノ重直/クロック周波数/位相)調整表示 "(ホーノ重応/ナチュラル1/ナチュラル2 (61ページ参照) (62ページ参照) (7) (カーシックメニュー編集 (名示部表示) (62ページ参照) (7) (ホーシックメニュー編集 (表示言語(Cnglish / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ボインダ (ボインタ1//ボインタ8) 表示語間(Figlish / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ボインダ (ボインタ1//ボインタ8) 表示語間(Figlish / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ボインダ (ボインタ1//ボインタ8) 表示語間(Figlish / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ボインダ (ボインタ1//ボインタ8) 表示語間(Figlish / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ボインダ (ボインタ1//ボインタ8) 表示語目(Figlish / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ボインダ (ボインタ1//ボインタ8) 表示評問(「手動) 「「「「「「「」」」」 「「「「「「」」」」	(58ページ参照	?)
	(58ページ参照	₹) 7.
ビデオ帯域フィルタ 動作/非動作 ビデオ帯域フィルタ 動作/非動作 金データ/表示中の信号 (61ページ参照) ノーマル/ナチュラル1/ナチュラル2 (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス選択(HDTV/SDTV) (62ページ参照) マトリクス増打(B+Y/R-Y/Cb/Cr/Pb/Pr) (62ページ参照) (明るさR/明るさG/明るさB/コントラストB) 調整表示 (62ページ参照) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) (62ページ参照) ベージ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) (62ページ参照) ボインシウオンニュ編集 表示時間(F動) 自動5秒 / 自動5秒 / 自動45秒) 表示時間(手動/自動5秒/自動5秒/自動45秒) (70/リアノ) ベージ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) (第二・中に、アイ・マクリント/ストリンター) ボインシックンシンシン (第二・日、ディンター) 第二・ロー・ボック・10回500 / 目動5秒/自動45秒) (70/リアノ・ストリンター) ペジ2 メッセージ 入力端子気(マク)フロント/ 大売り)リノア / デスワ/リア / 天吊り/フロント) シネマボマジシンシン に 「ボー・ボック / ブラックバック / ロゴ) マウス設定 ボタン設定 (高速 / 標準/ 高圧値) (70/ワロノ) マクス設定 ボタン設定 (高速 / 標準/ 高圧値) (70/ロノ) マクス設定 ボタンジン (三端 / 標準/ 高圧値) (70/ロノ) マクス設定 ボタン設定 (高速 / 標準/ 高圧値) (70/ロノ) マクス設定 ボタンシン(三端 / 標準/ 高圧値) (70/ロノ) マクス設定 ボタン (50/010/01) (70/010/01)	(59ページ参照	ž) 2 \
センロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・ロ・	(60ページ参照)	7) 7)
エノーマルノナチュラル1 / ナチュラル2 (6) パーン多端() ソーマルノナチュラル1 / ナチュラル2 (62ページ参照) マドリクスタイブ (B-Y/R-Y / Cb/Cr / Pb/Pr) (62ページ参照) (明るさR/明るさG/明るさB/コントラストR/ コントラストG/コントラストB) 調整表示 (62ページ参照) ページ1 メニューモード (アド/(シスト/ペーシック) ペーシックメニュー編集 表示時間(English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ポインタ*(ポインタ1//ポインタ8) (62ページ参照) ページ1 メニューモード (アド/(シスト/ペーシック) ページ2 メリセージ 人力端子表示(表示/非表示) 価括(目前) / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) (74/2) ページ2 メリセージ 人力端子表、(表示/非表示) ゲイレクトボタン 音量調整/(-(表示/非表示)) 金花ポジション (上端/中央/下端) パックグラウンド (ブルーパック/ ブラックパック/ ロゴ) マウス設定 ポタン設定 (右手用/左用) スピード設定 (高速 / 標準 / 低速) (79/2) ページ2 ビューワオブション フォルダー覧 (On / Off) 目動雨生 / 手動両生 間隔(5 - 300秒) (53/2) キャブチャオブション (高品質 / 標準 / 高圧縮) (7-9/3) ページ3 信号選択 RGB (自動判別/ RGB / コンポーネント / Scart) ビデオ (自動判別/ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM S・ビデオ (自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM S・ビデオ (自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM S・ビデオ (自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM S・ビデオ (自動制型 / On / Off) パワーマネージメント (On / Off) オージ3 信号選択 RGB (10 / Off) パワーマネージシント (On / Off) (RGB / UT / SU		3
 (ロインジェガ) (ロインジェブ) (ロインジェブ		
マドリカスタイブ (B-Y/R-Y/Cb/Cr/Pb/Pr) (62ページ参照) (明るさR/明るさG/明るさB/コントラストR/ コントラストG/コントラストB) 調整表示 (62ページ参照) ページ1 メニューモード (アドパンスト/ペーシック) ペーシックメニュー編集 表示言語 (English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ポインタ*(ポインタ1//ポインタ8) 表示時間(手動)/目動5秒/自動15秒/自動45秒) ページ2 メッセージ 入力端子表示(表示/非表示) 無信号(表示/非表示) ダイレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) 台形補正パー*(表示/非表示) ダイレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) 台形補正パー*(表示/非表示) ページ1 投写方法(デスク/フロント/天吊り/リア / 天吊り/フロント) シネマボジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーバック/ブラックパック/ロゴ) マウス設定 ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ビューワオブション (高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号運択 RGB(自動判別/RGB/コンボーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(English) ページ3 信号運捩 RGB(のみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 奇形福正保存(On/Off) コブ時間クリア ページ5 通信速度(4800)9000/19200/38400) 初期入力運氓(5スト/自動/指定) (RCB/ビデオ/S・ビデオ/ビューワ)		
(明るさR/明るさG/明るさB/コントラストR/ コントラストG/コントラストB) 調整表示 (62ページ参照) (62ページ参照) ページ1 メニューモード(アドパンスト/ペーシック) ページのクメニュー編集 表示言語(English / Deutsch / Français / Italiao / Español / Svenska / 日本語) ポインタ [*] (ポインタ1//ポインタ8) 表示時間(手動 / 自動5秒 / 自動15秒 / 自動45秒) ページ2 メッセージ 入力端子表示(表示/非表示) 新信号(表示/非表示) ダイレクトポタン 音量調整パー(表示/非表示) グイレクトポタン 音量調整パー(表示/非表示) イージ1 投写方法(デスク/フロント/天吊り/リア / デスク/リア / 天吊り/フロント) シネマポジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーバック/ブラックパック/ロゴ) マウス設定 ポタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高温(準準/低速) ページ2 ビューワオジョン フォルダー覧(On / Off) 自動再生/手動再生 間隔(5 ~ 300秒) キャブチャオブション(高品質 / 標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別/ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別/ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別/ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動)別別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動)別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動)別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(DN / DN / JN		
コントラストG / コントラストB) 調整表示 (62ページ参照) ページ1 メニューモード (アドバンスト/ペーシック) ベーシックメニュー編集 表示言語 (English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ポインダ*(ポインタ1) スラジ メッセージ 入力端子表示(表示/非表示) 新福信号(表示/非表示) ガイレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) イレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) パーマ・ジャン (上端/中央/下端) パックグラウンド(フルーパック) /ブラックパック/ロゴ) マウス設定 ポケン酸と(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ビューワオプション フォルダー覧 (On/Off) 自動再生/手動再生 町隔(5-300秒) キャブチャオブション (高品質 / 標準/高正縮) ページ3 信号選択 RGB (自動判別別/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別別/NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-M / PAL60 / SECAM S・ビデオ(1) ビデオ(1) ボースタート (On / Off) パースタート (On / Off) ボースタート (On / Off) ボースタート (On / Off) ボースタート (On / Off)		
 ページ1 メニューモード(アドバンスト/ペーシック) ペーシックメニュー編集 表示語語(English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska /日本語) ポインダ[*](ポインタ1//ポインタ8) 表示時間(手動/自動5秒/自動15秒/自動45秒) ページ2 メッセージ 入力端子表示(表示/非表示) 無信号(表示/非表示) ダイレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) 台形補正パー*(表示/非表示) ページ1 投写方法(デスク/フロント /天吊り/リア / デスク/リア / 天吊り/フロント) シネマボジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーパック/ブラックパック/ロゴ) マウス設定 ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ビューワオブション フォルダー覧(On/Off) 自動再生/手動再生 問隔(5 ~ 300秒) キャブチャオブション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンボーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) パワーマネージント(On/Off) ボワイトセグメント(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) オンドが(On/Off) マンド間筒/リア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力速訳(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/ビューワ) 		
 ページックメニュー編集 表示言語(English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語) ポインタ*(ポインタ1 /	(63ページ参照	7)
 マインダ (ボインタ1/	(63ページ参照) (65ページ参照)	?) ?)
表示時間(手動/自動5秒/自動15秒/自動45秒) ページ2 メッセージ 入力端子表示(表示/非表示) 無信号(表示/非表示) ダイレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) 台形袖正パー*(表示/非表示) ページ1 投写方法(デスク/フロント/天吊り/リア / デスク/リア / 天吊り/フロント) シネマボジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーパック/ブラックパック/ロゴ) マウス設定 ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ビューワオブション フォルダー覧(On/Off) 自動再生/手動再生 間隔(5 ~ 300秒) キャブチャオブション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM ページ4 自動調整(RGBのみ)(On / Off) ガートスタート(On / Off) パワーマネージメント(On / Off) ボフィトをグッント(On / Off) ボフィトをグッント(On / Off) ホワイトセグシント(On / Off) ホワイトセグシント(On / Off) ジブ時間クリア ページ5 通信速度(4800 / 9600 / 19200 / 38400) 初期入力選択(ラスト / 自動/指定) (RGB / ビデオ / ビデオ / ビューワ)	(65ページ参照	₹) ₹)
 ページ2 メッセージ 入力端子表示(表示/非表示) 無信号(表示/非表示) ダイレクトボタン 音量調整パー(表示/非表示) 谷ル補正パー*(表示/非表示) ページ1 投写方法(デスク/フロント/天吊り/リア / デスク/リア / 天吊り/フロント) シネマボジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーパック/ブラックパック/ロゴ) マウス設定 ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ビューワオブション フォルダー覧(の) Off) 自動再生/手動再生 間隔(5~300秒) キャブチャオブション (高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンボーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(EDN/EDN/EDN/EDN/EDN/EDN/EDN/EDN/EDN/EDN/	(65ページ参照	?)
ボーン(マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ	(66ページ参照) (66ページ参照)	2) 2)
	(66ページ参照	₹) ₹)
 ページ1 投写方法(デスク/フロント/天吊り/リア/デスク/リア/天吊り/フロント) シネマポジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーバック/ブラックバック/ロゴ) マウス設定 ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ビューワオブション フォルダ一覧(On/Off) 自動再生/手動再生 間隔(5~300秒) キャプチャオプション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAI ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 南部値正保存(On/Off) ランプ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/ビューワ) 	(66ページ参照	Ę)
 シネマボジション(上端/中央/下端) パックグラウンド(ブルーバック/ブラックバック/ロゴ) マウス設定 ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) ページ2 ピューワオプション フォルダ一覧(On/Off) 自動再生/手動再生 間隔(5~300秒) キャプチャオプション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンボーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) ボワイトセグメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランプ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/ビューワ) 	(67ページ参照	Z)
 マウス設定 ボタン設定 (右手用 / 左手用) スピード設定 (高速 / 標準 / 低速) ページ2 ビューワオブション フォルダー覧 (On / Off) 自動再生 / 手動再生 間隔(5~300秒) キャプチャオプション (高品質 / 標準 / 高圧縮) ページ3 信号選択 RGB (自動判別 / RGB / コンポーネント / Scart) ビデオ (自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM S-ビデオ (自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAI ページ4 自動調整 (RGBのみ)(On / Off) オートスタート (On / Off) ボワーマネージメント (On / Off) 電源オフ確認メッセージ (On / Off) 商帯補正保存 (On / Off) カワイトセグメント (On / Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度 (4800 / 9600 / 19200 / 38400) 初期入力選択 (ラスト / 自動 / 指定) (RGB / ビデオ / ビューワ) 	(67ページ参照 (67ページ参照	ž) 73)
スピード設定(高速 / 標準 / 低速) ページ2 ビューワオブション フォルダー覧(On / Off) 自動再生 / 手動再生 間隔(5 ~ 300秒) キャブチャオプション(高品質 / 標準 / 高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別 / RGB / コンポーネント / Scart) ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAN S-ビデオ(自動判別 / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAN ページ4 自動調整(RGBのみ)(On / Off) オートスタート(On / Off) パワーマネージメント(On / Off) 電源オフ確認メッセージ(On / Off) ホワイトセグメント(On / Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800 / 9600 / 19200 / 38400) 初期入力選択(ラスト/自動 / 指定) (RGB / ビデオ / S-ビデオ / ビューワ)	(68ページ参照	·) ₹)
 ページ2 ビューワオフション フォルター覧(On/Off) 自動再生/手動再生 間隔(5~300秒) キャプチャオプション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S・ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM (ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) ボワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S・ビデオ/ビューワ) 	(68ページ参照	Z)
間隔(5~300秒) キャブチャオブション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 白形補正保存(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ)	(68ペーシ参照 (69ページ参昭	₹) 7)
 キャプチャオプション(高品質/標準/高圧縮) ページ3 信号選択 RGB(自動判別/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM イージ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 台形補正保存(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ) 	(69ページ参照	,) ぞ)
 ページ3 信号選択 RGB(目動判別/RGB/コンホーネント/Scart) ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) カワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ) 	(69ページ参照	?)
S-ビデオ(自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAN ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 台形補正保存(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランプ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ)	(70ページ参照) (70ページ参照	¥) 7)
 ページ4 自動調整(RGBのみ)(On/Off) オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 台形補正保存(On/Off) カワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ) 	M) (70ページ参照	,) ぞ)
<pre>オートスタート(On/Off) パワーマネージメント(On/Off) 電源オフ確認メッセージ(On/Off) 台形補正保存(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ)</pre>	(71ページ参照	Z)
 ページス (ホ) シスシー (On / Off) 電源オフ確認メッセージ (On / Off) 台形補正保存 (On / Off) ホワイトセグメント (On / Off) ランプ時間クリア ページ5 通信速度(4800 / 9600 / 19200 / 38400) 初期入力選択(ラスト / 自動 / 指定) (RGB / ビデオ / S-ビデオ / ビューワ) 	(71ページ参照 (72ページ参照	₹) 8\
 台形補正保存(On/Off) ホワイトセグメント(On/Off) ランプ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ) 	(72ページ参照	, , ()
ホワイトセグメント(On/Off) ランブ時間クリア ページ5 通信速度(4800/9600/19200/38400) 初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ)	(73ページ参照	Į)
ページ5 通信速度 (4800 / 9600 / 19200 / 38400) 初期入力選択 (ラスト / 自動 / 指定) (RGB / ビデオ / S-ビデオ / ビューワ)	(73ページ参照) (73ページ参照)	₹) 77 \
初期入力選択(ラスト/自動/指定) (RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ)	(73ページ参照	マノ ぞ)
(RGB / ビデオ / S-ビデオ / ビューワ)	(73ページ参照	₹)
木休キーロック(有効/無効)	(73ページ券曜	9 \
	(75ペーン参照	- J
	(79ページ参照	₹) -
ベーシ1 信号台・入力端子・水半同期周波数・垂直同期周波数・同期極性 ページ2 信号形式・ビデオ標準・同期形能・インタート・フェッタの時	(80ページ参照	₹)

別売のプレゼンテーションリモコン(PR51KIT)でのみ有効です。

入力選択

調整するときは、目的のパソコンの画像やビデオデッキの映像をプロジェクタに映した状態で行ってください。

メニューの操作方法につきましては、47~49ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と50・51ページ「設定・ 調整のしかた」をご覧ください。

✔ RGB	↓ 入力信号の選択 【RGB / ビデオ / S-ビデオ / ビューワ】			
ビデオ	プロジェクタの入力端	子を選択します。		
S - ビデオ				
ビューワ	現在選択されている。	入力端子には✔マークを表示します。		
	ビューワの使いかた	は84ページをご覧ください。		
	RGB	RGB INPUT 端子に接続している機器の映像を映します。 この端子と接続しているコンポーネント入力信号もRGB を選択してください。(<i>70ページ参照</i>)		
	ビデオ	VIDEO端子に接続している機器の映像を映します。		
	S - ビデオ	S - VIDEO端子に接続している機器の映像を映します。		
	ビューワ	ビューワのスライドを映します。		

✓ RGB ビデオ S-ビデオ ビューワ

ビューワツールバーの名称とはたらき

[ビューワ]を選択するとビューワを表示します。(ビューワツールバーを表示す るには、リモコンでは MENU ボタン、USBマウスでは右クリックボタンを押 します。)

|お|知|ら|せ|

[ビューワ]選択後の動作は[セットアップ]の設定画面の[ページ2]のビュ ーワオプションで設定されている内容で動作します。(68ページ参照) ビューワで再生できる画像は、ビューワ専用ソフトウェア「PC Card Viewer Utility 1.0]で作成されたスライド(.idx)、本機でキャプチャした画像、デジタ ルカメラで撮影された画像(対応フォーマットは JPEG, BMP)です。

ĽЭ	レーリツールハー
ー カー	- ソル

ビューワツールバーの選択

SELECT ◀ / ▶ ボタンでカーソルを合わせ、 ENTER ボタンを押します。 USBマウス使用時は左クリックで動作します。

アイコン	いのけたらき	
		プレゼンテーションリモコンのボタンでの操作は、ビューワの使いかたをご覧ください。 リモコンから直接操作できます。
	移動	USBマウス接続時には青色の所を左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できま す。(リモコンでは移動できません。)
4	逆送り	再生画面 / スライド一覧 / フォルダー覧画面が前に戻ります。
₽	順送り	再生画面 / スライド一覧 / フォルダー覧画面が次に進みます。



ビューワツールバー表示中に MENU ボタンを押すと、ビューワツールバー表示を閉じてメニューを表示します。再 び MENU ボタンを押すとビューワツールバー表示に戻ります。 ビューワの使用をやめるには、本体の SOURCE ボタン、リモコンの入力選択ボタン、またはメニューより他の入力

ビューリの使用をやめるには、本体の SOURCE ボタン、リモコンの人力選択ボタン、またはメニューより他の人 を選んでください。 映像調整・音量調整

メニューの操作方法につきましては、47~49ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と50・51ページ「設定・ 調整のしかた」をご覧ください。

映像の調整【明るさ・コントラスト・カラー・色相・シャープネス】

 入力
 入力
 入力
 入力

 RGB
 ビデオ
 Sビデオ
 ンポーネント

調整は目的の映像を映してから行ってください。現在の入力選択で調整できる項目を表示します。 入力信号(RGB、コンポーネント、ビデオ)により表示が異なります。(調整できない項目は白文字になります。)

【例 コントラスト選択】



調整バーの長さが変わります。

映像調整項目は なります。 SELECT ◀ /	SELECT / で選択します。選択された項目は即 ▶ ボタンで調整します。]るく
	SELECT▶ ボタンを押すと明るくなります。	
	SELECT ◀ ボタンを押すと暗くなります。	
コントラスト	SELECT▶ ボタンを押すと映像が濃くなります。	
	SELECT ◀ ボタンを押すと映像が淡くなります。	
カラー	SELECT▶ ボタンを押すと色が濃くなります。	
	SELECT ◀ ボタンを押すと色が淡くなります。	
色相	SELECT▶ ボタンを押すと緑みがかります。	
	SELECT ◀ ボタンを押すと赤みがかります。	
シャープネス	SELECT▶ ボタンを押すとくっきりした映像になり	ます。
	SELECT ◀ ボタンを押すと柔らかい映像になります	•

音量の調整【音量】

プロジェクタの内蔵スピーカの音量調整です。プロジェクタのAUDIO端子に接続して いる音声入力の音量調整ができます。



調整バーの長さが変わります。

SELECT ◀ / ▶ ボタンで音量調整ができます。 SELECT ▶ ボタンを押すと音が大きくなります。 SELECT ◀ ボタンを押すと音が小さくなります。

入力端子ごとに調整できます。
 工場出荷時は最小に設定されています。
 音量調整バーは、 VOLUME + / - ボタンで直接表示させることもできます。
 (66ページ参照)

ゼ

内蔵スピーカの音声について 入力を切り換えてもAUDIO端子(IN)に接続されている機器の音声が出ます。

画像調整

調整するときは、目的のパソコンの画像やビデオデッキの映像をプロジェクタに映した状態で行ってください。 メニューの操作方法につきましては、47~49ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と50・51ページ「設定・ 調整のしかた」をご覧ください。



お知らせとお願

ĩ١



ノイズを低減する【ノイズリダクション】

映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。

SELECT ◀ / ▶ ボタンで目的の設定を選択します。

ノイズリダ	フション			
⊙オフ	〇弱	〇中	〇強	
				●オフ…ノイズリダクションを切ります。 ●弱 ●中 輝度信号のノイズリダクションの強さを3段階から選 ●強 択します。

はじめに 目 次 接続とセッティング 基本操作 メニュー 操作 ビュー ワを使う

画像の表示位置と周波数の調整【位置・周波数】 画面の表示位置とRGB信号の画素ズレを調整します。

RGB入力の場合、[自動調整]を設定していると白文字になり選択できません。手動に切り換えてください。(71ページ参照)

SELECT / ボタンで調整する項目を選択します。選択すると調整バーが明るくなります。

SELECT ◀ / ▶ ボタンで調整します。

画面表示位置の調整

SELECT ◀ / ▶ ボタンを押して画面の中心に移動させます。 [水平]は画面が水平方向に移動します。[垂直]は画面が垂直方向に移動します。

位置・周波数	?×
水平	F
	Þ
 ✓ 1300 	Þ
位相	
٩	Þ



クロック周波数の調整

SELECT ◀ / ▶ ボタンを押して画面の明るさが一定になる(明暗の縦帯が出なくなる) ところが最適な調整です。

位置・周]波数	?⊠
水平		Þ
4		Þ
クロック	り周波数	
◀	1328	Þ
位相		
٩		Þ



著式(O) 91가 9(W) 시

投写距離表

位相の調整

SELECT ◀ / ▶ ボタンを押して画面の色ズレ、ちらつきの最小になるところが最適な 調整です。





お知らせとお願い

アドバンスド・アキュブレンドの選択【解像度】

プロジェクタのRGB信号の表示画素数は1024×768ドットです。この表示画素数以外 の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。ア ドバンスド・アキュブレンド機能で補正します。この機能のON / OFFの選択です。

RGB入力の場合、[自動調整]を設定していると白文字になり選択できません。手動に切 り換えてください。(71ページ参照)

SELECT ◀ / ▶ ボタンでフルまたはリアルを選択します。

フル……アドバンスド・アキュブレンド機能を入れます。

投写中の信号(VGA, SVGA, XGA, SXGA, UXGA)によらず、プロジェクタが自動 的に拡大・縮小してフル画面で表示します。

投写中の信号解像度がプロジェクタの表示画素数より下の解像度(VGA / SVGAなど) の場合、オリジナルサイズで縮小表示されます。

|お|知|ら|せ|

本機の表示画素数以上の解像度(SXGA/UXGA)の信号を表示した場合は、「リアル] を 選択してもフル(表示画素数)で表示されます。

映像フィルタの設定【ビデオ帯域フィルタ】

映像のざらつきやジッター(文字などの微妙な揺れ)を低減させます。 工場設定では、あらかじめ信号毎に適した状態に設定されています。 信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

RGB入力の場合、[自動調整]を設定していると白文字になり選択できません。 手動に切り換えてください。(71ページ参照)

SELECT 4 /		ボタンで選択します。
------------	--	------------

ビデオ帯域に	フィルタ	?×	●動作	フィルタがかかります。
⑨動作	〇非動作		●非動作	フィルタが切れます。

解像度		? X
⊙ フル	○ リアル	

調整データのリセット【データリセット】 プロジェクタに記録された全調整・設定値または表示中の信号について調整した	はじめに
調整値を初期値に戻します。	
	目
SELECT ◀ / ▶ ボタンで全データまたは表示中の信号を選択し、 SELECT / ボタンでカーソルを [確定]に合わせて ENTER ボタンを押します。 リセットの動作中は S アイコンを表示します。	次
 ・金 ・金 ・金 ・金 ・設定値が工場設定値になります。 ・していります。 ・レットされるデータ [表示言語]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・ [機器使用時間]以外の全ての調整・設定値 	接続とセッティング
 (ランプ使用時間をクリアするには73ページをご覧ください) ●表示中の信号表示中の信号について調整した調整値が工場設定値になります。 リセットされるデータ 明るさ/コントラスト/カラー/色相/シャープネス/ガンマ補正/ アスペクト/ノイズリダクション/カラーマトリクス/ホワイトバランス/ 水平位置/垂直位置/クロック周波数/位相/解像度/ビデオ帯域フィルタ 	基本操作
取り止めるとき SELECT / ボタンでカーソルを[取消]に合わせて ENTER ボタンを 押してください。リモコンの CANCEL ボタンでも取り消すことができます。	メニュー 操作

データリセット		?×
	工場設定に戻す	
○全データ	 表示中の信号 	
	確定	取消

ビュー ワを使う

お知らせとお願い

プロジェクタ投写映像の基本のカラー調整を行います。

?× ガンマ補正 ガンマ補正の選択【ガンマ補正】 ○ノーマル ◎ナチュラル1 ○ナチュラル2 映像の黒い部分の階調の選択です。これにより暗い部分も鮮明に表現します。 SELECT ◀ / ▶ ボタンで目的のガンマ補正を選択します。 ● ノーマル......標準的な設定です。 ナチュラル1 …自然な色あいを重視します。 テレビ番組や一般的な映像ソースを見るのに適しています。 ナチュラル2 …信号の暗い部分が鮮明になります。 映画を見るのに適しています。 カラーマトリクスの選択【カラーマトリクス】

> マトリクス選択とマトリクスタイプは SELECT / ボタンで選択します。 SELECT ◀ / ▶ ボタンで内容を選択します。

マトリクス選択

ハイビジョン放送仕様かデジタル放送仕様のカラーマトリクスかの設定です。 入力信号のカラーマトリクスタイプを選択します。

 HDTV…ハイビジョン放送仕様のカラーマトリクスです。 SDTV …デジタル放送仕様のカラーマトリクスです。

マトリクスタイプ

 \mathbb{R}

映像複合信号をRGB信号に分離する形式の選択です。入力信号のカラーマト リクスタイプに合わせます。

●B-Y / R-Y ……B-Y / R-Y のマトリクスタイプ

【例 コントラストGを選択】

カラーマトリクス

マトリクス選択

マトリクスタイプ ⊙ B - Y / R - Y ○ C b / C r

⊙HDTV



調整バーの長さが変わります。

●Cb / CrCb / Cr のマトリクスタイプ ● Pb / PrPb / Pr のマトリクスタイプ

ホワイトバランスの調整【ホワイトバランス】

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

ホワイトバランス調整項目は SELECT / で選択します。選択された 項目は明るくなります。 SELECT ◀ / ▶ ボタンで調整します。

[明るさR]·[明るさG]·[明るさB]で画像の黒色を調整します。

[コントラストR]・[コントラストG]・[コントラストB]で画像の白色を調整 します。

カラーマトリクス			2×
マトリクス選択			
⊙HDTV	OSDTV		
- マトリクスタイ	7		
• B · Y / R · Y	OCb/Cr	OPb/Pr	

OSDTV

OPb / Pr

メニュー設定

カーソル

画面に表示させるメニューや入力端子表示、メニューの表示言語などの設定です。

はじ め 表示させるメニューモードの選択【メニューモード】 に メニュー表示は、全てのメニュー項目を表示するアドバンストメニューとお客 様独自に登録したメニュー項目のみを表示するベーシックメニューがありま す。表示させたいメニューを選択します。 工場出荷時は基本的なメニュー項目を登録したベーシックメニューに設定して メニュー設定 $? \times$ います。登録内容を変えるには [ベーシックメニュー編集]を行ってくださ E ページ1 ページ2 ι١. 次 アドバンスト メニューモード アドバンスト ベーシック ベーシックメニュー編集 1 SELECT / ボタンでメニューモードを選択します。 表示言語 日本語 \square 接続とセッティ ポインタ 2 ポインタ 1 Þ SELECT ▶ ボタンでプルダウンリストが出ます。 表示時間 自動15秒 Þ 3 SELECT / ボタンで目的のモードを選択し、 ENTER ボタンを 確定 取消 押します。 **4** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタ ング ンを押します。メニューに戻ります。 ベーシックメニュー |お|知|ら|せ| 基 信号選択 革 映像調整 ベーシックメニュー表示のとき一時的にアドバンストメニューを表示 操作 音量 させる場合 画像設定 ベーシックメニューに登録していない項目の調整・設定を行う場合は、 機器設定 SELECT / ボタンで [アドバンストメニューへ]を選択して ツール ENTER ボタンを押します。一時的にアドバンストメニュー表示に変わりま ヘルプ す。 メニュ アドバンスト メニューヘ 再び MENU ボタンを押したときはベーシックメニュー表示に戻ります。 Т 操 メニュー設定 $? \times$ ベーシックメニューを編集する【ベーシックメニュー編集】 作 ページ1 ページ2 ベーシックメニューに表示させるメニュー項目の登録 / 解除を行います。 メニューモード ベーシック ▶ ビュ ベーシックメニュー編集 表示言語 日本語 ₽ 1 SELECT / ボタンで [ベーシックメニュー編集]を選択し Т ワ ENTER ボタンを押します。ベーシックメニュー編集表示が開きます。 っを使う 2 SELECT / ボタンで登録または解除するメニュー項目にカーソル メリュー語分 ٦V ベーシックメニュー編集 X を合わせます。 ✓信号選択 ▶ 確定 3 RGB ENTER ボタンを押して登録(チェックが入る)または、解除(チェ ビデオ お 取消 ックが消える)を選択します。 S - ビデオ 知らせとお ビューワ リセット □ 映像調整 ✓ チェックを入れる …………登録されます。 音量 ✓ 音量
✓ 画像設定 ▶ □ チェックを入れない ………登録が解除されます。 ~ 台形補正 ランプモ・ 同様に他のメニュー項目も選択します。 ~ 詳細設定 ▶ アスペクト カーソルを表示範囲の一番下へ移動させ、さらに SELECT ボタン 願 ノイズリダクション 位置・周波数 4 を押すと1つずつスクロールし次のメニュー項目が出ます。 L١ 解像度

次ページに続きます





4 よければ SELECT ▶ ボタンで [確定]を選択し、 ENTER ボタンを 押します。ベーシックメニュー編集表示が閉じてメニュー設定画面に戻り ます。

'確定をするとメニュー設定での[取消]はできません。 |お|知|ら|せ|

取り消す場合

SELECT ボタンで[取消]を選択し、 ENTER ボタンを押します。 編集前の状態に戻してメニュー設定画面に戻ります。

登録を工場設定に戻す場合

SELECT ボタンで[リセット]を選択し、 ENTER ボタンを押し ます。メニュー項目のチェックが工場設定に戻ります。

SELECT ◀ ボタンを押して青色のカーソルを項目選択へ戻し、3から 操作してください。

お知らせ

信号選択や画像設定など▶が付いている項目を登録すると メニュー表示時にサブメニューで表示します。またこの項 目の選択だけでサブメニュー全部の登録ができます。 サブメニューの項目中1つ以上を解除に設定すると▶が付 いている項目名のチェックがグレーになります。



メニューモードが [アドバンストメニュー]に設定された 状態でベーシックメニュー編集を [確定]すると、ベーシ ックメニューへの切り換え確認表示が出ます。

[はい]を選択すると、開いている画面が全て閉じてベー シックメニューが表示されます。[いいえ]を選択すると、 メニューはアドバンストメニューのままで、ベーシックメ ニュー編集の設定が保存されます。ベーシックメニューを 表示するには、メニューモードで[ベーシックメニュー] を選択します。



メニュー表示のときサブメニューを表示しない様にするに は▶が付いている項目名のチェックを外して、個々にチェ ックを入れてください。

サブメニューを表示しない方法では最大12項目が登録で きます。(サブメニュー表示と非表示の組み合わせでも最 大12項目となります。)



工場設定時のベーシックメニュー項目 以下の項目にチェックが付いています。 信号選択(RGB、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ) 映像調整 音量 画像設定(台形補正) 機器設定(メニュー設定、セットアップ) ツール(キャプチャ、ファイル選択、チョークボード) ヘルプ(目次、情報)



メニューが自動的に画面から消えた後に MENU ボタン、 ENTER ボタン、 CANCEL ボタン、 SELECT ◀ / ▶ ボタンのいずれかを押すと、消える前に表示していた状態のメニューが表示されます。 ただし、メニューが消えている間に入力信号を切り換えた場合は、消える前に表示していたメニューは表示されず、通

常のメニュー操作と同様になります。

メニュー設定		?×
ページ1 ページ2		1
メッセージ 入力端子表示 無信号	◎表示 ○表示	〇非表示 ⊙非表示
ダイレクトボタン 音量調整バー 台形補正バー	〇表示 〇表示	●非表示●非表示
	ត	筆定 取消

入力端子表示のOn/Off 【入力端子表示】 入力信号を切り換えたときの入力選択表示をする / しないの設定です。

- 1 SELECT / ボタンで入力端子表示を選択します。
- 2 SELECT ◀ / ▶ ボタンで表示 / 非表示を選択します。
- **3** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタ ンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定		?⊠
ページ1 ページ2		
メッセージ 入力端子表示 無信号	◎表示 ○表示	〇非表示 ⊙非表示
ダイレクトボタン 音量調整パー 台形補正パー	〇表示 〇表示	④非表示 ⊙非表示
	ត	全 取消

メニュー設定

メッセージ 入力端子表示 無信号

ページ1 ページ2

ダイレクトボタン

音量調整バー

台形補正バー

無信号表示のOn/Off [無信号]

信号が入力されていないとき、画面上に無信号であることを表示する / しない の設定です。

- **1** SELECT / ボタンで無信号を選択します。
- 2 SELECT ◀ / ▶ ボタンで表示 / 非表示を選択します。
- **3** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタ ンを押します。メニューに戻ります。

音量調整表示のOn/Off [音量調整バー] VOLUME +/- ボタンで音量調整をする場合に音量調整バーを表示する/ しないの設定です。音量調整をしたときのみ表示します。

- 1 SELECT / ボタンで音量調整バーを選択します。
- 2 SELECT ◀ / ▶ ボタンで表示 / 非表示を選択します。

3 よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタ ンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定 ?× ページ1 ページ2 メッセージ ⊙表示 ○非表示 入力端子表示 ●非表示 〇表示 無信号 ダイレクトボタン 1 ●非表示●非表示 音量調整バ・ ○表示 ○表示 台形補正バー 2 3 確定取消

●表示
 ○表示

○表示 ○表示



 $? \times$

○非表示○非表示

⊙非表示

◎非表示

確定取消

台形補正表示のOn/Off [台形補正バー]

KEYSTONE +/- ボタンで台形補正調整する場合に台形補正 調整バーを表示する/しないの設定です。台形補正を調整したと きのみ表示します。

SELECT / ボタンで台形補正バーを選択します。

- SELECT ◀ / ▶ ボタンで表示 / 非表示を選択します。
- ↓ よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタ ンを押します。メニューに戻ります。

セットアップ



ロゴを選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。

自作の背景をバックグラウンドに設定するには、77ページ「バックグラウンドロゴ変更のしかた」をご覧ください。

セットアップ	?×
ページ1 ページ2 /	ページ3 ページ4 ページ5
投写方法	デスク / フロント 🛛
シネマポジション	上端
バックグラウンド	ブルーバック D
マウス設定 ボタン設定	●右手用○左手用
スピード設定	高速
	確定取消

マウスの設定【マウス設定】

市販のUSB対応マウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー 操作ができます。このときのマウスの設定です。

マウスボタン設定

マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。

- **1** SELECT / ボタンでボタン設定を選択します。
- 2 SELECT ◀ / ▶ ボタンで内容を選択します。
 - ・右手用………マウスボタンが右手用の動作をします。
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 <
- **3** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタンを押します。メニューに戻ります。

セットアップ ページ1 ページ2 へ 投写方法 シネマポジション バックグラウンド マウス設定 ポタン設定	②区 ミージ3 ページ4 ページ5 デスク / フロント 上端 ブルーバック ・ <	マウススピード設定 マウスを動かしたときのポインタの速度を選択します。 1 SELECT / ボタンでスピード設定を選択します。 2 SELECT▶ ボタンでブルダウンリストが出ます。 3 SELECT / ボタンで目的のスピード選択し、ENTER ボ タンを押します。
スピード設定	標準 〕 高速 標準	
	確定 取消	 4 よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER

ページタブ セットアップ ②区 ページ1 ページ2 ページ3 ページ4 ページ5 ビューワオブション ① フォルダー覧 ③自動再生 ①手動再生 間隔 ④D 15 秒 キャプチャオブション 確定 取消

ビューワ機能を設定する【ビューワオプション】

ボタンを押します。メニューに戻ります。

ビューワ再生時の初期設定です。ビューワの使いかたは84ページをご 覧ください。

SELECT / ボタンでカーソルをページタブに合わせ SELECT ◀ / ▶ ボタンで [ページ2]を選択します。

フォルダー覧表示の設定

ビューワ入力を選択したときのスタートの状態を設定します。

- **1** SELECT / ボタンで[フォルダー覧]を選択します。
- 2 ENTER ボタンを押してチェックを入れる / 入れないを選択します。

✓ チェックを入れるフォルダー覧が表示されます。
□ チェックを入れないスライド画面が映ります。

3 よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、ENTER ボタンを押します。メニューに戻ります。





69

操

作

ビュ

Т

ヮ

っを使う

お

知らせとお

願い

信号モードの選択【信号選択】

RGB入力端子、VIDEO入力端子、S-VIDEO入力端子の信号モードの選 択です。通常は自動判別を選択しておきます。

自動判別できない場合はプロジェクタに接続している出力機器の信号モ ードに合わせてください。

- SELECT / ボタンでカーソルをページタブに合わせ SELECT ◀ / ▶ ボタンで「ページ3」を選択します。
- 2 SELECT / ボタンで目的の入力端子を選択します。
- **3** SELECT ▶ ボタンでプルダウンリストが出ます。
- **4** SELECT / ボタンで目的の信号を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- **5** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタンを押します。メニューに戻ります。



映像信号の選択【ビデオ/S-ビデオ】

国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。 VIDEO入力端子、S-VIDEO入力端子の入力信号の設定ができます。

信号選択 RGB	自動判別	
ビデオ	自動判別 🕨	自動判別
S - ビデオ	自動判別 🛛	NTSC 3.58 NTSC 4.43
		PAL PAL-M
		PAL-N
	確定取消	SECAM

 $? \times$

 自動判別自動で入力信号を判断して切り換えます。
NTSC3.58NTSC 3.58 モードになります。

NTSC4.43NTSC 4.43 モードになります。
PALPAL モードになります。
PAL-MPAL-M モードになります。
PAL-N
PAL60PAL60 モードになります。
SECAMSECAM モードになります。

セットアップ

ページ1 ページ2 ページ3 ページ4 ページ5



画像の自動調整【自動調整】

RGB信号の表示位置と画素のズレの調整を自動で行うか、手動で行うかの設定です。

- **1** SELECT / ボタンでカーソルをページタブに合わせ SELECT ◀ / ▶ ボタンで [ページ4]を選択します。
- **2** SELECT / ボタンで自動調整(RGBのみ)を選択します。
- **3** ENTER ボタンでチェックを入れる / 入れないを選択します。
 - ✓ チェックを入れる ……表示位置と画素調整を自動で行います。
 チェックを入れない …手動で調整できます。(59ページ参照)
- **4** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタンを押します。メニューに戻ります。

|お|知|ら|せ|

画像によっては正しく調整できない場合や、信号を切り換えたとき調 整までに時間がかかる場合があります。このような場合は手動で行っ てください。

自動で立ち上げる【ォートスタート】

電源プラグに電源が供給されると自動的にプロジェクタが立ち上がりま す。

プロジェクタを制御卓などでコントロールする場合に使用します。

- SELECT / ボタンでカーソルをページタブに合わせ SELECT ◀ / ▶ ボタンで [ページ4]を選択します。
- **2** SELECT / ボタンでオートスタートを選択します。
- 3 ENTER ボタンでチェックを入れる / 入れないを選択します。
 ✓ チェックを入れる ………オートスタートが動作しプロジェクタ が立ち上がります。
 - □ チェックを入れないスタンバイ状態になります。
- **4** よければ SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタンを押します。メニューに戻ります。



メニュー操作 ビューワを使う お知らせとお願い

目

次

接続とセッティング

基本操作





【プロジェクタ投写画面】



電源を切るとき確認表示を出す【電源オフ確認メッセージ】 電源をOFFにするとき確認表示を出します。

- **1** SELECT / ボタンでカーソルをページタブに合わせ
 - SELECT ◀ / ▶ ボタンで [ページ4]を選択します。
 - SELECT / ボタンで電源オフ確認メッセージを選択します。
 - SELECT ◀ / ▶ ボタンでチェックを入れる / 入れないを選択します。

✓ チェックを入れる …………確認メッセージを表示します。
□ チェックを入れない ………確認メッセージがでません。

4 よければ SELECT / ボタンで [確定]を選択し、 ENTER ボタンを押します。メニューに戻ります。

設定を有効にしたとき(チェックを入れたとき) プロジェクタの電源を切るときに確認表示が出ます。 よければ ENTER ボタンを押してください。確認表示が閉じてスタ ンバイ状態になります。 取り消すときは SELECT▶ ボタンで[取消]にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押します。


ランプ交換を行ったときに[ランプ残量]と[ランプ使用時間]をクリ アします。

- SELECT / ボタンでカーソルをページタブに合わせ SELECT ◀ / ▶ ボタンで [ページ4]を選択します。
- **2** SELECT / ボタンでランプ時間クリアを選択し、ENTER ボタンを押して確認表示を出します。
- 3 よければ SELECT ◀ ボタンで [確定] にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。確認表示が閉じます。
 - 取り消すときは、[取消]にカーソルが合った状態で ENTER ボ タンを押します。
- **4** SELECT / ボタンで[確定]を選択し、 ENTER ボタン を押します。メニューに戻ります。

知らせ 確定をするとセットアップでの[取消]はできません。 (回像設定]の[データリセット]ではクリアされません。



/お

ビュ

Т

ワを使う

お

知らせとお

願

11

セットアップ



お知らせ

本体キーがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。 本体キーがロックされているときに、本体の CANCEL ボタンを10秒間押すとロックが解除されます。

ツールの機能

ビューワ機能を使うときのツールです。

映している画像を保存する(キャプチャ)、パソコンで作成した資料をプロジェクタに表示する(ファイル選択)、プロジェ クタの画面に描画する(チョークボード)ことができます。

著作権について

キャプチャ機能を使用して映像・写真・イラストなどを取り込んだり、取り込んだものを加工または編集する場合、著作者の目的となっている著作物は、個人で使用する以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。

キャプチャ	キャプチャ機能 [キャプチャ]	
ファイル選択 チョークボード	映している画像をコンパクトフラッシュカードのキャプチャ専用フォルダに保存します。キャ	
	プチャの使いかたは93ページをご覧ください。	目
	お知ら世	2
	★ 株の表示画表数を招える解像度のキャプチャ画像は 正しく表示されません。	
	本機の私が画系数を超える解除度のキャップを画像は、正して私がされなどれ。 コンパクトフラッシュカードをセットしていないと選択できません(白文字)。	
	キャプチャを開いているときは同時にチョークボードツールバーの表示はできません。(チ	接
	ョークボードを選択するとキャプチャツールバーは閉じます。)	続
	画像フォーマットはJPEG形式でファイル名は自動的に付きます。	セ
キャプチャッールバー	キャプチャットルバーの選切	ッテ
	キャプチャットルバーの選択	1
	FFFCT◀/▶ ボタンでカーソル(青色枠)を合わせ、 FNTFR ボタンを押します。	ング
ー カーソル	USBマウス使用時は左クリックで動作します。	-
アイコンのけたらき		-
		基本
日本 28動	USBマウス接続時には左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できます。(リ	操
	モコンでは移動できません。)	17F
	画像の保存を開始します。キャプチャ中はキャプチャが行われていることを示すため 🔽 アイ	
👸 キャプチャ	コンを表示します。このときコンパクトフラッシュカードを取り出したり、プロジェクタ本体	
	の電源を切ったりしないでください。コンパクトフラッシュカードが破損します。	쓰
	また、キャプチャが終了するまではキャプチャツールバーの操作はできません。	그
	ビデオ咖磨やパソコンの動画を熱止画メエリに入れてまそします。日的のキャプチャ掲画を切	I
│┃┃│ 静止曲	こうな味家でパンゴンの動画を静止画べてりに入れてなかりより。日前のキャンチャ場面を採 すときに使います。	保作
	静止画アイコンを選択すると静止画になり、もう一度選択すると動画になります。	16
		Ľ
× 終了	キャプチャツールバーを閉じます。	ے 1
キャプチャ	PCファイルを映す「ファイル選択」	を
ファイル選択	ファイル選択はビューワソフトウェアを使って編集保存したスライドではなく、お手持ちのソ	使
チョークボード	フトウェアで作成した資料を映す場合に使います。	2
		お
	コンパクトフラッシュカードをセットしていないと選択できません(白文字)。	上に
	実行可能なファイル形式は下記のとおりです。	ぜ
	.uxu テキストノアイル idx Index ファイル	と
	.htm HTML ファイル	の願
	.jpg JPEG形式の画像ファイル	ĩĩ
	.bmp BMP形式の画像ファイル	
	これ以外の形式は、[全て]を選択していればファイルリストには表示されますが、実行し	
	てもファイルは開きません。	

はじめに



ファイルリストは SELECT / ボタンでファイルを選択します。

ファイルリストから右側を操作するときは、 SELECT ▶ ボタンを押して [実行]にカーソル (青色)を移動させます。 SELECT / ボタンで目的の項目を選択します。

ファイルリストに戻るには、カーソルを[実行]に戻してから SELECT ◀ ボタンを押します。

プルダウンリストは SELECT ▶ ボタンでリストがでます。 SELECT / ボタンで選択し、 ENTER ボタンを 押すと選択されます。

USBマウスはクリックで動作します。使いかたは81ページをご覧ください。

各部のはたらき

ファイルリスト コンパクトフラッシュカードに記録されているファイルのリストを表示します。

リストにはファイル名(拡張子)・サイズ(キロバイト単位)・日付(西暦 24時間表示)を表示 します。

スクロールバー	USBマウスは []または []をクリックしてファイルリストをスクロールします。
	カーソルがファイルリストの下または上にあるとき SELECT / ボタンを押すごとにスクロー
	ルします。(スクロールバーはファイルリスト表示範囲を越えたファイル数の場合に表示されます。)

- パス名 選択ファイルのパス名を表示します。
- 情報 ファイルリストの総ファイル数を表示します。
- 並び順 ファイルの名前 / 種類 / 日付 / サイズを昇順または降順にファイルリストを並び替えます。 SELECT ▶ ボタンを押すとプルダウンリストを表示します。
- ファイルの種類 全て /.txt /.idx /.htm /.jpg /.bmp の中から選択した種類のファイルをファイルリストに表示しま す。 SELECT ▶ ボタンを押すとプルダウンリストを表示します。 [全て]を選択した場合は開けないファイルでもファイルリストには表示します。

ディスク容量 コンパクトフラッシュカードの使用容量をキロバイト単位で表示します。

実行	選択されたファイルを映します。
	ファイル形式JPEG、BMPの画像を実行するとビューワ入力に切り換わります。
	画面左下に表示されたツールバーの [戻る] アイコンを選択するとファイル選択画面に戻ります。
	アイコンのはたらきは次ページをご覧ください。
終了	ファイル選択を終了し、メニュー表示に戻ります。
ロゴ	パソコンで作成したバックグラウンドのロゴ(背景)を取り込む場合に選択します。

76

はじ 画像ファイル選択時(ビューワ画面)に表示されるツールバーアイコンのはたらき め に カーソル ツールバーの選択 SELECT ◀ / ▶ ボタンでカーソル (青色枠)を合わせ、 ENTER ボタンを押します。 × USBマウス使用時は左クリックで動作します。 移動 USBマウス接続時には左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できます。(リモコンでは 目 移動できません。) 次 戻る ファイル選択画面に戻ります。 × 終了 ツールバーを閉じます。 接続とセッティ

バックグラウンドロゴ変更のしかた

無信号時の背景(バックグラウンド)を自作することができます。パソコンで作成して、コンパクトフラッシュカードに保 存してください。



6 SELECT ◀ / ▶ ボタンで [確定] を選択し、 ENTER ボタンを押します。ロゴが変更されます。 変更したロゴを確認するには、バックグラウンドをロゴに設定して(67ページ参照) 本機を無信号状態にします (接続機器の電源を切るなど)。

|お|知|ら|せ|

工場設定のNECロゴに戻すには

添付のCD-ROMに収録されているNECロゴ(¥logo¥nec_b_x.jpg)をコンパクトフラッシュカードにコピーし、上記の 手順でロゴを変更してください。

ング

基本操作

メニュ

Т

操

作

ビュ

Т

ワ

くを使う

お

知らせとお願

ĩ١

メニューの操作方法につきましては、47~49ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と50・51ページ「設定・ 調整のしかた」をご覧ください。



ヘルプ

プロジェクタの使い方や現在入力中の信号情報を知りたいとき、ランプ使用時間を知りたいときに使います。



|お|知|ら|せ

ヘルプは HELP ボタンを押して直接開くことができます。 開いた後は SELECT \mathbf{A} で見ることができます。

調整・設定画面のヘルプアイコ **[**X ンをUSBマウスでクリックす るとその項目の操作説明が書か れたヘルプページを開きます。

?

79

はじ

め に

E

メニュ

L

操 作

ビュ

Т

お

願

11

入力信号情報と機器情報を見る (情報)

入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間を表示します。

SELECT ◀ / ►	ボタンでページを選択します
--------------	---------------

情報	?	\boxtimes		
ページ1 ページ2 ページ3	ページ4	_		
信号名 入力端子 水平同期周波数 垂直同期周波数 同期極性	情報 ページ1 ページ2 信号形式 ビデオ標準 同期形態 インターレース 解像度	ページ4 「ページ1」ページ2」ペー アスペクト ガンマ補正 ノイズリダクション カラーマトリクス マトリクスタイプ	②区 [ジ3 ページ4 [「-マ!! [「ページ1」ページ2 ページ3 ランプ残量 ランプ残量 ランプ残量 「シブ使用時間 機器使用時間	2区 2区 3 ページ4 20[時間] 20[時間]

ランプ残量 / ランプ使用時間の表示について -----

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

[ランプ使用時間]はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量]はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。(メッセージは、投写中ずっと表示されます。)

新しいランプと交換してください。交換のしかたは「ランプ交換のしかた」106ページをご覧ください。

ランプ寿命に到達(ランプ残量0%)後、[ランプ残量]表示は赤色の時間表示に変わります。ランプモードの設定にかかわらず、さらに100時間使用した場合、電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		
	ノーマルモードのみ使用 (最小)	エコモードのみ使用 (最大)	ランプ残量
工場出荷時	000		100%
ランプ寿命	1000時間	1500時間	0 %



メニューや調整・設定表示のタイトルハーの部分を左クリックしてドラックすることにより、位直を USBマウスによっては使用できないものもあります。

チョークボードの使いかた

USBマウスを使ってフリーハンドの文字や図形が描けます。プレゼンテーションにお使いください。 チョークボードツールバーの機能説明は78ページをご覧ください。

お知らせ

チョークボードで描いた文字や図形をキャプチャ保存することはできません。

チョークボードツールバーを表示しているとき/非表示アイコンで閉じているときは、メニュー選択はできません。 本体の SOURCE ボタンやリモコンの入力選択ボタンで入力を切り換えたり、入力信号が切り換えられたときは、強 制終了します。

キャプチャツールバーを表示しているときにチョークボードを選択すると、キャプチャ機能は終了します ビューワ機能を使用しているときにチョークボード機能は使用できますが、スライド切換などの操作を行うと描画はク リアされます。







- 1 チョークボードツールバーを表示させる マウスをクリックしてメニューを表示させ、[チョークボード]をクリッ クして選択します。チョークボードツールバーの表示に変わります。
- 2 ペンの種類を選択する [ペン]アイコンのを左クリックして線種一覧表示を出し、目的の線を 左クリックして選択します。線種一覧表示が閉じます。



3 ペンの色を選択する

[カラー]アイコンを左クリックしてカラー一覧表示を出し、目的の色を 左クリックして選択します。カラー一覧表示が閉じます。







4 マウスを使って図形を描く

[ペン]アイコンを左クリックします。アイコンが凹んで描画モードに 入ります。

左ボタンを押したまま移動させるとマウスの軌跡通り画面に描かれます。

チョークボードツールバーを一時閉じておく場合は [非表示] アイコン を左クリックします。 再び開くには右クリックします。





5 ある部分の線を消す

[消しゴム]アイコンの を左クリックして消しゴム線種一覧表示を出し、目的の太さを左クリックして選択します。消しゴム線種一覧表示が とじます。

[消しゴム]アイコンを左クリックしてから、左ボタンを押したまま消したい部分をなぞります。

 画面全体をクリアする場合
 [クリア]アイコンを左クリックします。
 全画面が消去されます。

6 チョークボードを終了する [終了]アイコンを左クリックすると、全画面消去して終了します。 はじめに

目

次

接続とセッティング

基本操作

ビューワを使う前に

コンパクトフラッシュカードに保存したスライドをプロジェクタに映し出すことができます。しかも、その場にパソコンが 無くてもプロジェクタ単独でプレゼンテーションが可能です。会議やオフィスでのプレゼンテーション、デジタルカメラで 撮影した画像の再生などに便利です。

こんなことができます -

パソコンを持ち運ばなくてもコンパクトフラッシュカードに資料を保存しておけばOK。

添付ソフトウェアを使ってスライドを簡単に作成。

USBマウスを使えば投映画像に直接赤線などやフリーハンド図形を描いて説明できます。(チョークボード)

店頭での使用に便利な自動スライド切り換え機能があります。

目的のスライドを探すとき、縮小画面の中から選んでワンタッチ表示。

ワープロソフトや表計算ソフトの画面およびビデオ映像などをキャプチャしてスライドが作れます。 (映像信号により上下方向に伸びることがあります)

コンパクトフラッシュカード内のJPEG, BMP形式の画像やテキストまたはHTMLファイルを映すなど便利 なファイル選択。

デジタルカメラで撮影したコンパクトフラッシュカードも再生。(MS-DOSフォーマット形式のJPEG, BMPのみ)

1024×768ドットの高精細表示可能

ビューワで映るようにするには



PCカードスロットのないパソコンは使用できません。

7 プロジェクタに映す資料をパソコンで作成する PowerPoint や文書作成ソフト、画像ソフトなどで資料を作成します。





- **2**添付ソフトウェアをパソコンにインストールする 添付のCD-ROMの中にあります。(87ページ参照)
- 3 作成資料を編集しインデックス形式に変換する ビューワ専用ソフトウェアを使って作成した資料を取り込んだり、また、画像 としてキャプチャして取り込み、再生順や画像サイズなどを調整してビューワ で再生できるインデックス形式に変換します。 PowerPoint で作成した資料はPowerPoint変換ソフトウェアでインデックス 形式に変換できます。 ソフトウェアの使いかたは各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。



お知らせとお願い

コンパクトフラッシュカードの出し入れ

コンパクトフラッシュカードは、パソコンで作成したプレゼンテーション資料のデータ保存やプロジェクタに映っている画 像(画像キャプチャ)の保存と再生に使います。

コンパクトフラッシュカードを挿入する向きについて コンパクトフラッシュカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しよう としてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れ てしまいます。挿入する向きは、コンパクトフラッシュカードの説明書があれば、そちらをご覧ください。



入れかた

表面を上にしてPCカードスロットに水平にゆっくり差し込みます。 完全に差し込まれると、 PCカード取り出し ボタンが飛び出します。 完全に差し込まれたことを確認してください。

お願い 挿入しづらい場合は無理に押し込まないでください。

コンパクトフラッシュカード



出しかた

PCカード取り出し ボタンを押すとカードが少し飛び出しますので、 カードの両端を持って取り出します。

B PC CARD ACCESS インジケータが点灯しているとき(カ ードへデータをアクセスしているとき)は取り出さないでくだ さい。コンパクトフラッシュカードが破損します。



パソコンのPCカードスロットに入れるとき PCカードアダプタにコンパクトフラッシュカードを取り付けてください。 コンパクトフラッシュカードを図のように正しい向きにして、PCカード アダプタにしっかり差し込みます。



コンパクトフラッシュカードについて LT150ZJで使用できるメモリカードはCFA仕様のコンパクトフラッシュカードです。 NECの製品では以下のカードがご使用いただけますのでお買い求めください。 コンパクトフラッシュカード: PC-FH4S, PC-FH15S,

添付ソン	フトウェア	のインス	トール

プレゼンテーションを行うときに必要な資料はパソコンを使用してインデックス形式にし、コンパクトフラッシュカードに 保存してから本機で再生します。

インデックス形式にするソフトウェアが添付のCD-ROMの中にありますのでWindows95/98/Me/NT4.0(SP3以降) /2000対応パソコンにインストールしてください。



添付のCD-ROMはパーソナルコンピュータ専用です。パーソナルコンピュータ以外の CDプレーヤでは再生しないでください。誤って再生すると、大音量で再生され耳やス ピーカ等が損傷することがあります。

インストールをする

準備:Windows がすでに起動している場合は、起動中のアプリケーションソフトをすべて終了 してください。終了させないと、インストールが正常終了しない場合があります。 また、添付ソフトウェアのインストール操作の途中で、中止したいときは[終了]ボタン を押して、ダイアログボックスの指示にしたがってください。

7 Windows を起動します。

2 CD-ROMドライブ装置へ添付のCD-ROMディスクを挿入します。 CD自動再生機能の働きで、自動的にCD-ROMのプログラムが起動し、目次画面が表示され ます。

CD自動再生機能は、パソコンのコントロールパネルのCD-ROMで「挿入の自動通知」がチェックされている場合に動作します。(初期設定はチェックされています。)

3 [PC Card Viewer Utility 1.0のインストール]をクリックします。 セットアップダイアログに変わります。

ダイアログの説明に従って操作をすすめてください。





はじめに

目

次

接続とセッティング

基本

-操作

メニュ

Т

操

作

ビュ

Т

ワを使う

添付ソフトウェアの起動

パソコンでプレゼンテーション資料の編集をしてプロジェクタのビューワで映るようにインデックス形式に変えるためには ビューワ専用ソフトウェアを使います。PowerPointで作成した資料をそのままインデックス形式に変えるには PowerPoint変換ソフトウェアを使います。ここでは、起動方法を説明します。 各々使用方法につきましては、オンラインヘルプをご覧ください。

ビューワ専用ソフトウェア [PC Card Viewer Utility 1.0]の起動

[スタート]メニューの [プログラム] の中にある [NEC Projector Tools] から [PC Card Viewer Utility 1.0] をクリックします。



PowerPoint 変換ソフトウェア [PC Card Viewer PPT Converter 1.0]の起動 [スタート]メニューの[プログラム]の中にある [NEC Projector Tools]から [PC Card Viewer PPT Converter 1.0]をクリックします。



ビューワを使う

添付ソフトウェアを使って作成したプレゼンテーション資料のスライドを、プロジェクタで映すときの操作のしかたです。

スライドを映す ―――	k
スライドを映す基本操作 ビューワオプションが工場出荷時状態(手動再生)に設定されてい スライドの映しかたで説明します。	じ め に
お知らせ コンパクトフラッシュカード内のフォルダに複数 ドが保存されているとします。 ビューワツールバーはビューワを選択したときは なりますので、非表示の場合の説明です。ビュー バーでの操作は次ページをご覧ください。	のスライ _{非表示に} 目 ワツール次
1 PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを打す。 2 ビューロンカを選択する	■入しま 接続とセッティング
 レユ シバリにとはバッシー本体の SOURCE ボタンまたはメニューより[ビューワ]をす。 スライドが表示されます。 PC CARD ボタンを押すと、スライドが表示され 	:選択しま 基本 操作 ます。
3 スライドを切り換える SELECT ◀ / ▶ ボタンを押すとスライドが逆送り / 順送り、 わります。	
 SLIDE + / - ボタンを押すとスライドが順送りと切り換わります。 4 他の入力に切り換えるとき ************************************	り / 逆送 ビュー ワを使う
本体の 300KCE ホタク、 9モコクの八角選択ホタクまたは より他の入力を選択します。 再び、ビューワ入力に切り換えると 3 で選択しているスライドがP	ッシュー 映ります。 お 知 ら せ と お
VIDEO , S-VIDEO , RGB1 ボタンで入力 します。	の願い



あ知らせ

フォルダー覧に表示できるのは、最大12個までのフォルダです。右下に表示されたフォルダは常にキャプチャ専用フォル ダとなっています。ただし、キャプチャが行われている場合のみ表示されます。コンパクトフラッシュカードに13個以上 のフォルダを保存して、フォルダー覧で表示を行いたい場合は、ビューワ専用ソフトウェアの[ファイル]メニューの[フ ォルダインデックスの編集]で、表示したいフォルダをフォルダインデックスの先頭から12番目以内に移動してください。 フォルダインデックスについて詳しくはビューワ専用ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



スライドー覧画面から目的のスライドを映す場合

7 スライド一覧画面を表示させる スライド一覧[]]アイコンを選択してください。

2 表示したいスライドを指定します。 逆送り / 順送り [◀1 / I▶] アイコンでスライドカーソル (緑色)を目的のスラ イドに合わせます。(スライドカーソルは選択するごとに移動します。) 次に、再生 [▶] アイコンを選択します。指定したスライドが表示されます。



FOLDER LIST ボタンを押すとフォルダー覧画面を表示します。 SLIDE LIST ボタンを押すとスライドー覧画面を表示します。 SLIDE + / - ボタンを押すとスライドが切り換わります。

自動再生でスライドを切り換える

ビューワオプションで[自動再生]をONに設定している場合、[自動再生間 隔]で設定されている時間で自動的にスライドが切り換わります。



逆送り/順送り[4]/ ▶]アイコンを選択しても自動再生は停止します。

お/知/ら/ゼ

ビューワオプションの設定を変えたい場合

設定アイコンを選択するとビューワオプションの設定表示が開きます。設定のしかたは68ページをご覧ください。
 フォルダー覧表示のON/OFF、自動再生/手動再生、自動再生間隔の設定変更ができます。

はじ

ŏ

に

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュ

丨 操

作

ビュ

L

ワを使う

お知らせとお願い



手動再生でスライドを切り換える

プロジェクタの表示画像をキャプチャ(保存)する





表示画像をコンパクトフラッシュカードに保存する **1** PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入します。 2 保存したい画像をプロジェクタで映します。 3 キャプチャツールバーを表示する メニューの[キャプチャ]を選択し ENTER ボタンを 押します。メニュー表示が閉じキャプチャツールバーが左下に表示されま す。 【アイコンの選択と実行のしかた】 SELECT ◀ / ▶ ボタンで目的のアイコンにカーソルを合わせ、 ENTER ボタンを押すと実行されます。以下" アイコンを選択" とご説明します。 各アイコンの機能は75ページをご覧ください。 プロジェクタモードになっていないと操作できません。 PJ ボタンを押してボタンを光らせます。 4 キャプチャを開始する

キャプチャ [💩] アイコンを選択すると [🚺] アイコンを画面中央に 表示し、キャプチャを開始します。

保存が完了すると [] アイコンが消えます。 (5~10秒かかります。解像度や絵柄によりさらに時間がかかる場合があ ります。) 保存ができなかったり、空き容量がないときは [カードエラー]を表示し ます。

ビデオ映像や動画のキャプチャは、静止画 [II] アイコンを使用して目 的の場面を静止画にしてから、キャプチャ操作をすると便利です。

お)願(い

お知らせ
キャブチャされた画像ファイルのサイズは入力信号の解像度
により異なります。
キャプチャした画像ファイルをビューワ機能で表示する場
合、信号によっては画像サイズが異なる場合があります。
JPEG 形式で画像データを圧縮しておりますので、多少画

 \sim

質が劣化します。 画像の削除は、ビューワツールバーの [削除]アイコンで行います。(55ページ参照)

本機の表示画素数を超える解像度のキャプチャ画像は、正し く表示されません。 キャプチャ中はキャプチャが行われていることを示す ため アイコンを表示します。このときに、コンパ クトフラッシュカードを取り出したり、プロジェクタ 本体の電源を切ったりしないでください。コンパクト フラッシュカードが破損します。 はじめに

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュ

丨 操

ſΈ

ビュー ワを使う

お知らせとお願

ĩĩ

キャプチャされた画像を見る **1** ビューワを選択する 本体の SOURCE ボタンまたはメニューより「ビューワ」を選択します。 ビューワツールバーが表示していない場合は、 MENU ボタンを押してビュ ーワツールバーを表示します。 【アイコンの選択と実行のしかた】 SELECT ◀ / ▶ ボタンで目的のアイコンにカーソルを合わせ、 ENTER ボタンを押すと実行されます。以下" アイコンを選択"とご説明します。 カーソル 各アイコンの機能は54ページをご覧ください。 プロジェクタモードになっていないと操作できません。 PJ ボタンを押してボタンを光らせます。 **A-**1 **B-1 C-1 D-1** E-1 F-1 G-1 H-1 2 フォルダー覧画像を映し、右下のフォルダを選択する 右下のフォルダがキャプチャ専用フォルダです。 フォルダカーソル・ フォルダー覧 [🗐] アイコンを選択するとフォルダー覧画面を表示します。 LCap 順送り [▶] アイコンを選択して最後のフォルダに 09 . 0001 / 0006 フォルダカーソルを合わせます。 キャプチャ専用フォルダ (ビューワオプションの[フォルダー覧表示]を設定している場合は、ビュ サムネイル(縮小画面)には最初 -ワ入力を選択した時に表示します。) にキャプチャした画面が表示さ れます

3 キャプチャ画像を映します。(ただし、キャプチャ画像がある場合)

キャプチャ画像のスライドを始めから再生する場合 再生 [▶] アイコンを選択します。

目的のキャプチャ画像を再生する場合 スライド一覧[■]アイコンを選択し、逆送り/順送り[◀|/I▶]アイコ ンでスライドカーソルを目的のスライドに合わせます。 次に、再生[▶]アイコンを選択します。

指定したキャプチャ画像が映ります。 逆送り / 順送り [◀ | / I▶] アイコンの選択でスライドが切り換わります。



09:0001/0006

スライドカーソル

Cap

2

Cap

6

Cap

2

Cap

Cap

1

Cap

5

フォルダー覧に表示の右下のフォルダは常にキャプチャ専用フォルダとなっています。

コンパクトフラッシュカードに13個以上のインデックスを保存して、フォルダ一覧で表示を行いたい場合は、ビューワ専 用ソフトウェアの[ファイル]メニューの[フォルダインデックスの編集]で、表示したいインデックスをフォルダインデ ックスの先頭から12番目以内に移動してください。インデックスについて詳しくはビューワ専用ソフトウェアのヘルプを ご覧ください。



フォルダの削除

削除にはキャプチャ専用フォルダ内の全削除と1つのスライドの削除があります。 ビューワ専用ソフトウェアで作成・編集されたスライドやパソコンのソフトで作 成されたスライドの削除はできません。



準備	:「キャプチャされた画像を見る」の操作をしてフォルダー覧画面を表示し
	ます。
1	右下のキャプチャ専用フォルダを選択します。 順送り [Ⅰ▶] アイコンを選択して画面のフォルダカーソルをキャプチャ専用 フォルダに合わせます。

2 [削除]アイコンを選択します。 削除[¹]アイコンを選択します。 これでキャプチャフォルダが削除されました。

ー カーソル	

スライドカーソル

Cap ₁	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5	Cap 6		
09:0001/	0006		

1つのキャプチャファイルの削除

準備:「キャプチャされた画像を見る」の操作をしてフォルダー覧画面を表示し _ ます。

- 右下のキャプチャ専用フォルダを選択します。
 順送り [▶] アイコンを選択して画面のフォルダカーソルをキャプチャ専用
 フォルダに合わせ、スライド一覧 [] アイコンを選択します。
 キャプチャ画像のスライド一覧が表示されます。
- 2 削除するスライドを選びます。 逆送り/順送り[◀I/I▶] アイコンを選んで、削除するスライドに画面のス ライドカーソルを合わせます。
- 3 [削除]アイコンを選択します。 削除[[∞]]アイコンを選択します。

これで1つのキャプチャ画像が削除されました。

はじめに

目

次

接続とセッティング

基本操作



キャプチャされた画像をパソコンで削除・保存する

キャプチャされた画像はパソコンで削除したりパソコンに保存することができます。 (パソコンでの削除はキャプチャされた画像全てを一括して消去します。)

*あ知らせ*コンパクトフラッシュカードは添付のPCカードアダプタに取り付けてからパソコンのPCカードスロット にセットしてください。

画像フォルダを削除する

- 1 画像がキャプチャされたコンパクトフラッシュカードをパソコンのPCカードスロットにセットします。
- 2 エクスプローラ等で、そのコンパクトフラッシュカード内のフォルダを表示させてください。
- **3** [__cap__]というフォルダがありますので、そのフォルダを削除します。

画像をパソコンに保存するとき

- ┦ キャプチャ画像を保存したコンパクトフラッシュカードをパソコンのPCカードスロットにセットします。
- **2** エクスプローラ等で、そのコンパクトフラッシュカード内の[__cap__]フォルダを開きます。
- **3** .jpg (は任意の数字 .jpg はJPEGフォーマット形式を示す拡張子)としてファイル名が表示され ますので、必要なファイルをハードディスクに保存してください。

ハードディスクなどに保存した画像ファイルは、ビューワ専用ソフトウェア PC Card Viewer Utility 1.0 にて呼び 出しプレゼンテーション資料として、再びコンパクトフラッシュカードに保存することができます。

デジタルカメラで撮影した画像を見る

以下の条件に合う場合には、ビューワでの再生が可能です。

画像をMS-DOSフォーマットのコンパクトフラッシュカードに保存できる。

本機に対応している形式(以下の条件)の画像で保存できる。

ビューワでは、カード上でのディレクトリを検索しその中に存在するJPEGまたはBMP形式の画像をスライドとして認識します。

表示の対象となるディレクトリはルートディレクトリから2階層かつ最初から12個以内までです。



、 スライドとして認識する画像は1つのディレクトリにつき128枚までです。

(ゼ) 編集を行うには添付の専用ソフトウェアでコンパクトフラッシュカードから画像を読み込んで編集し、 別のコンパクトフラッシュカードに画像を格納してください。

キャプチャした画像およびデジタルカメラで撮影した画像を見る場合のお知らせ 本体の SOURCE ボタンまたはメニューより[ビューワ]を選んで手動または自動で再生します。

▲ ファイル選択のしかた

パソコンのお手持ちのソフトウェアで作成した資料をコンパクトフラッシュカード(PCカード)に保存してプロジェクタ に映すことができます。ファイル選択は目的のファイルを早く見つけることができます。 ここでは、使いかた例を説明します。各項目の機能説明は75,76ページをご覧ください。

1 PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入します。

2 [ファイル選択]表示を出す

メニューの[ファイル選択]を選択するとファイル選択画面が表示されます。 ファイルリストにコンパクトフラッシュカードのファイル名などが表示され ます。

AAAAAAAA.txt BBBBBBBB.bm CCCCCCCC.jpg	16,000 p 360,000	1999/06/01	13:55		1 × • • •
CCCCCCCCC.jpg	p 300,000		00.20	H	終了
	1,420,000	1999/04/20	10:25		ت
EEEEEEEEidx	850,000 16,000	1999/05/15	18:10 20:40	Ш	
					並び順 名前(abc) ファイルの種類 全て(*.*) 空き容量 2.662.000k



例:昇順(a zの順)にファイル名を並び替えます。

3 [並び順]を選択する

ファイルリストにカーソルがある場合は、 SELECT ▶ ボタンを押してく ださい。[実行]にカーソルが移動します。

SELECT / ボタンを押してカーソルを [並び順] に合わせ SELECT ▶ ボタン押してプルダウンリストを出します。

SELECT / ボタンを押してカーソルを [名前 (abc..)] に合わせ ENTER ボタンを押すとファイルリストの並び替えが実行されます。

ファイルの種類で[全て]を選択するとカード内の全てのファイルリストが 表示されますが、[実行]ボタンを押して表示できるファイル形式は JPEG, BMP, TEXT, HTML. INDEX の5種類です。

(JPEG, BMPのファイル形式は[実行]して表示させるとビューワ入力に 切り換わります。) はじ

めに

目次

接続とセッティング

基本操作

ビューワを使う

4 ファイルを選択する

SELECT ボタンを押して[実行]にカーソルを合わせます。 SELECT ◀ ボタンを押してカーソルをファイルリストに移動します。 SELECT / ボタンを押してカーソルを目的のファイルに合わせます。

ファイル選択				?×
名前	サイズ	日付		実行
AAAAAAAAA BBBBBBBB	txt 16,000 bmp 360,000	1999/06/01	13:55 A	終了
CCCCCCCC.	ipg 1,420,000	1999/04/02	10:25	
EEEEEEE.	idx 16,000	1999/06/03	20:40	
				並び順 名前(abc) D
				ファイルの種類 全て(*.*) D
				空き容量 2,662,000KB
パス名 /	/			
情報 5フ	ァイル			

22

AAAAAAAA.txt

- 21世紀の商品形態
- 1.量産可能な技術の予測
- 2.新素材の予測
- 5.

3.社会状況の予測

- 4



5 ファイルを映す

SELECT ▶ ボタンを押してカーソルを[実行]に合わせます。 ENTER ボタンを押すと選択したファイルが映ります。

JPEG、BMP以外のファイルを選択した場合は、ウインドウが画面いっぱい に表示されます。

CANCEL ボタンを押すとファイル選択画面に戻ります。



JPEG、BMPファイルを選択した場合は、自動的にビューワ入力に切り換わ ります。

画面左下に表示されたツールバーの [戻る] アイコンを選択すると、ファイ ル選択画面に戻ります。



他のファイルを映す場合は 2 の操作から行ってください。

6 終了する

カーソルを[終了]に合わせて ENTER ボタンを押すとファイ ル選択画面が閉じます。

性能維持

ランプ交換のしかた -

光源につかわれているランプの使用時間が1000時間(ノーマルモードのみ使用時)を超えるとSTATUSイン ジケータが赤点灯し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」 が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。従ってこの場合ランプ使用時間は延び ることになります。現在のランプ使用残量の目安は80ページをご覧ください。

交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ型名LT51LPとご指定ください。 指定のネジ以外は外さないでください。

ランプハウスには、ランプ保護のためガラスがついています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。 また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。

メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れる時には、小さな破裂 音が発生し、ランプの破片がランプボックス内に散らばります。この場合は、販売店に交換を依頼してください。 ランプ寿命に到達後、100時間を越えて使用すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。



ランプの交換は、電源を切り90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから 抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、 やけどの原因となることがあります。

- 1 ランプカバーを外します。
 - ランプカバーのネジを左に空転するまでゆるめます。
 ネジは外れません。
 - ランプカバーネジ側を持ち上げ、 引いて外します。



2 ランプハウスを外します。

- ランプハウス固定のネジ(3箇所)を左に空転するまでゆるめます。 ネジは外れません。
- ランプハウスの取っ手を持って引きます。
 このとき、ランプハウスのランプソケットも
 外れます。



本機には安全スイッチが付いています。 安全スイッチには触れないでください。



はじめに

お知らせとお願い



5 ランプ残量とランプ使用時間をクリアします。

電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてから行います。 メニューの[セットアップ] [ページ4]の[ランプ時間クリア]ボタンを選択して、[確定]を選択してください。 (73ページ参照)

これで、ランプ交換が終わりました。



ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると電源が入らなくなります。そのような場合は、スタンバイ状態でリモコンの HELP ボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、 STATUSインジケータが消灯することで確認できます。



本体操作部のインジケータ表示が点灯したり点滅している ときは下記の異常を知らせています。

電源を入れたときも動作状態をインジケータ表示で知らせます (正常状態)。37ページ「2.プロジェクタ電源の入/切」をご覧 ください。



はじめ

に

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュー 操作

ビュ

L

ワを使う

お知らせとお願い

イン	ノジケータ表示	プロジェクタの状態	行ってください
STATUS O	赤点灯	ランプ寿命	ランプの交換時期です。新しいランプに交換してくだ
POWER ● 🛈	緑点灯		さい。
STATUS O	赤点灯	ランプ寿命到達後	電源は入りません。新しいランプに交換してください。
POWER ● 🕛	オレンジ点灯	100時間	
STATUS O	赤点滅 (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。 正しく取り付けてください
POWER ● Ů	オレンジ点灯		
STATUS O	赤点滅 (2秒点灯/2秒消灯)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、
POWER ♥ Ů	オレンジ点灯		ノロシェクタを涼しい場所へ移動してくたさい。
STATUS O	赤点滅 (4秒点灯/4秒消灯)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を なおしてください
POWER ● ①	オレンジ点灯		依頼してくたさい。
STATUS O	赤点滅 (6秒点灯/6秒消灯)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。90秒以上待って再度電源を 入れてください。
POWER ● ①	オレンジ点灯		それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。

インジケータが上記以外の間隔で点滅しているときは、販売店にご相談ください。

温度プロテクタについて —

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなるとランプが消灯しSTATUSインジケータが点滅(2秒点灯/2秒消灯)します。

同時に温度プロテクタが働いてプロジェクタの電源が切れることがあります。(この場合はインジケータは点灯しません。) このときは、以下のことを行ってください。

1 電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。

2 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。
周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
通風孔にほこりがたまっていたら掃除してください。(103ページ参照)

3 プロジェクタの温度が下がるまで、約60分待ってください。

以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買 い求めの販売店またはNECフィールディング(株)支店・営業所にお問い合わせください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
雷源が入らない	雷源プラグがコンセントから抜けていませんか。	36
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	100
	ランプ寿命を超えて使用していませんか	80
	内部温度が高くなっていませんか。 内部温度が高くなっていませんか。 内部の温度が異常に高いと保護の	101
	ため雪頂け入りません。 しげらく待ってから雪頂を入れてください	
映像が出ない	接続されている入力を選んでいますか。	43.54
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	30~35
	画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	56
	ノート型パソコンをご使用の場合、プロジェクタと接続してからパソ	42
	コンの電源をいれましたか。また、パソコンの設定が外部RGB出力	
	端子へ出力されない設定になっていませんか。	
	ノート型パソコンは、多くの場合、プロジェクタと接続した状態で雷	
	源をλれないと外部RGB出力端子に信号が出力されません。	
	NVDプレーヤをRGB端子と接続しているとき 映像が出たい場合	70
		, 0
		107
	NGD///Jの場合、 標準 にち 以外の にちか パノ され これ ま さんか。 冬い 字が エレノ 細軟 - い 字 さわ てい ま す か	61
	合設たが止して調整・設定されていよりか。	01
	[ナーダリビット]を1]つてください。 DOD)カの場合、東京調整をエレノにっていますか	5.0
	RGB八川の場合、回面詞空を正して11つていますか。	59
映像が歪む	正しく設置されていますか。	40
	台形状に歪む場合は台形歪補正の調整を行ってください。	57
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	39
	投写画面とプロジェクタが正しい角度で設置されていますか。	40
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	28.105
	レンズなどが結露していませんか。	
	気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内	
	部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなく	
	なるまで数分お待ちください。	
水亚またけ垂直方向に映像が	RGR入力の提合 水平位置 垂直位置を正しく 鋼敷しましたか	59
ボーるたる単量力内に映像が	RGB入力の場合、入力信号が対応している解像度 周波数になって	107
910CHRICK/C10AV	いますか パリコンの解像度を確認してください	107
RGB入力で文字がチラついたり	画像の自動調整をONにしてください。または画像の自動調整がOFF	71.59
色がずれている場合	(手動)の場合はクロック周波数と位相を調整してください。	
リエコンズ提供できたい	リエコンの売池が消耗し マリナユノ かっ エレ い 原池 と 六格し マノギナ	
リモコノで操作できない	リモコノの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してくたさ	20
	↓・。 リモコンと木休のリモコン受光部との問に陪実物がありませんか	20
	、 こう 、 C 平 H W 、 C コ ノ 又 L P C V P C F A D N W S C $U U $	20
	ッ ビョンの FM形四(111)を起えていると700。 リモコン洋信邨を太体のリモコン	20
	リモコン医信部を本体のリモコン受力部に同じていよりか。	20
STATUSインジケータが点滅	インジケータ(LED)表示一覧をご覧ください。	101
する		
USBマウスが動作しない	USBマウスが正しく取り付けられていますか。(マウスによっては使	81
	用できないものもあります。)	

お手入れについて

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

キャビネットのよごれは・・・・・

毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。 汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。

シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、 掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取 ってください。なお、アダプタを付けずに直接当 てたり、ノズルアダプタを使用することは避けて ください。

通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くな り内部の温度が上昇し、故障の原因となりますの で、こまめに掃除をしてください。設置場所にも よりますが100時間を目安に掃除をしてください。



キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

本体内部の掃除については、お買いあげの販売店またはNECフィールディング(株)支店・営業所にお問い合わせください。

レンズのよごれは・・・・・

カメラのレンズと同じ方法で(市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って)クリーニングし てください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。 また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因と なります。 はじめに

目

次

接続とセッティング

様

	形	名		LT150ZJ
	方	式		単板DMD™反射方式
+	- א ח א ח	е п.	サイズ	0.7型
萋		~70	画素数*1	786,432画素(1024ドット×768ライン)
日	投映レン	ズ		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス
任	光	源		135W NSHランプ
│禄	光学装	置		カラーフィルタ回転による色分離
		~		最小30型(投写距離 1.41m・テレ時)
	回回リイ	~		最大200型(投写距離 7.99m・ワイド時)
	色再現	性		フルカラー 1,677万色
	音 声 出	力		1W モノラルスピーカ内蔵
	土本国油	. *h	水平	15 ~100 kHz(RGB入力は24kHz以上)
	<u> </u>	. 2 χ	重 直	50 ~ 120 Hz
				マニュアルズーム、マニュアルフォーカス
				入力信号切換(RGB/コンポーネント /S-ビデオ/ビデオ/ビューワ) 画像自動調整、
	調 整 機	能		画面拡大、台形歪補正、画面位置調整、ミュート(映像/音声とも)、電源オン/オフ
				オンスクリーン表示 / 選択 (明るさ、コントラスト、カラー*²、色相*²、シャープネス*³、
				音量)
ア			信号方式	セパレート信号方式
	、 カ 信	므	映像信号	アナログ:0.7 Vp-p / 75
R			同期信号	セパレート:TTLレベル(正/負)
B				シンクオングリーン:0.3 Vp-p 負(映像:0.7 Vp-p 正)
分	入力端	子	映 像	RGB ミニD-Sub 15ピン×1(コンポーネント入力と共用)
	最大表示解	像度	モ(横×縦)	1600 × 1200(アドバンスド・アキュブレンドによる表示)
ビ			信号方式	NTSC 3.58 / NTSC 4.43 / PAL / PAL-N / PAL-M / PAL60 / SECAM
「デ	入力信	号		コンポジット:1.0Vp-p / 75
X				S 映像端子:Y信号(1.0 Vp-p / 7 5))C信号(0.2 8 Vp-p / 7 5)
力	入力端	子	映 像	RCA×1 S映像端子×1
音	音声信号			0.5Vrms/22k 以上
声	音声入力端	子		ミニジャック×1
	水平解像	度		NTSC:550TV本
	(市 田 理	培		動作温度:5~35 動作湿度:20~80%(ただし結露しないこと)
	使 用 垠	児		保存温度: -10~50 保存湿度:20~80%(ただし結露しないこと)
	電	源		AC 100V 50/60Hz
	最大消費電	力		210W ^{*4}
	定格入力電	፤ 流		2.2A
	外形寸	法		243(幅)×53(高)×196(奥行)mm (突起部含まず)
	質	量		1.5kg

*1:有効画素数は99.99%です。

*2:NTSC/PAL/SECAM / ビデオ / コンポーネント入力時のみ調整可能です。

*3:NTSC/PAL/SECAM / ビデオ入力時のみ調整可能です。

*4:本製品は経済産業省の「家電汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づいた適合品です。 USB端子はUSB規格 Ver 1.0 に準拠、ただしUSBマウスのみ対応。 この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。



表のみかた

100型スクリーンにワイドで映すには表より、3.97m付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクタ底面からスクリーンの上端までが約1.82m必要となりますので、プロジェクタを置いた台か ら天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクタを水平に調整 した時)チルトフットにより上へ最大約5.1°上げることができます。

お知らせとお願い

スクリーンサイズと寸法表



サイズ(型)	スクリーン幅(cm)	スクリーンの高さ(cm)
200	406.4	304.8
180	365.8	274.3
150	304.8	228.6
120	243.8	182.9
100	203.2	152.4
80	162.6	122.0
60	121.9	91.4
40	81.3	61.0
30	61.0	45.7

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。 水平投映位置……レンズを中心に左右均等 垂直投映位置……(下表参照)

スクリーンサイズ	投写距離 L (m)		寸法 H	(cm)
(型)	ワイド時	テレ時	ワイド時	テレ時
30	1.16	1.41	7.7	7.8
40	1.56	1.90	10.3	10.4
60	2.36	2.87	15.4	15.5
80	3.17	3.84	20.6	20.7
100	3.97	4.81	25.7	25.9
120	4.78	5.79	30.9	31.1
150	5.98	7.24	38.6	38.9
180	7.19	8.70	46.3	46.6
200	7.99	9.67	51.5	51.8



あ 知らせ 設計値のため、±5%の誤差があります。

対応解像度一覧

144		走査周		
機 種	│	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	対応状況
ビデオ(NTSC)		15.734	60.0	
ビデオ(PAL/SECAM)		15.625	50.0	
PC-9800シリーズ	640 × 400	24.8	56.4	
	640 × 400	31.5	70.1	
	640×480	31.5	60.0	
	640 × 480	37.5	75.0	
	800 × 600	37.9	60.3	
	800 × 600	46.9	75.0	
	1120 x 750	50.0	60.0	
	1024 × 768	56.5	70.1	
	1024 × 768	60.0	75.0	
	1280×1024	64.6	59.9	
PC-98NXシリーズ	640 x 350	31.5	70.1	
	640 x 350	37.9	85.1	
	640 × 400	31.5	70.1	
	640 × 400	37.0	85.1	
	720 × 350	31.5	70.0	
	720 x 330	27.0	70.0	
	720 × 400	315	700	
	720 x 400	31.5	70.0	
	640 x 480	31.5	00.0	
	640 x 480	37.9	72.0	
	640 x 480	37.5	75.0	
	640 × 480	43.3	85.0	
	800 × 600	35.2	56.3	
	800 × 600	37.9	60.3	
	800 × 600	46.9	75.0	
	800 × 600	48.1	72.2	
	800 × 600	53.7	85.1	
	1024 × 768	48.4	60.0	
	1024 × 768	56.5	70.1	
	1024 × 768	60.0	75.0	
	1024 × 768	68.7	85.0	
	1152 × 864	67.5	75.0	
	1280 × 1024	64.0	60.0	
	1280 × 1024	80.0	75.0	
	1280 × 1024	91.0	85.0	
	1600 × 1200*	75.0	60.0	
	1600 × 1200*	81.3	65.0	
	1600 × 1200*	87.5	70.0	
	1600 × 1200*	93.8	75.0	
Apple Macintosh®	640 × 480	35.0	66.7	
	832 × 624	49.7	74.6	
	1024 × 768	60.2	74.9	
	1152 × 870	68.7	75.1	
	1280 × 1024	69.9	65.2	
Apple iMac [™]	640 × 480		117.0	
	800 × 600		95.0	
	1024 × 768		75.0	
EWSシリーズ	1280 × 1024	75.1	71.2	
HP	1280 × 1024	78.1	72.0	
SUN	1152 × 900	61.8	66.0	
	1280 × 1024	81.1	76.1	
SGI	1024 × 768	49.7	60.4	
	1152 × 900	71.7	76.1	
HDTV (720p, 750p)	1280 × 720	33.6	60.0	
(1080i, 1125i)	1920 × 1080	45.0	60.0	
SDTV (480p. 525p)		31.5	59.9	
(480i, 525i)		15.7	59.9	

:出荷時プリセット

: アドバンスド・アキュブレンド対応

「出荷時プリセット」はその表示解像度 / 周波数の標準的な信号に合わせていますが、 パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。

ワークステーションとの接続に関しての詳細は、当社にお問い合わせください。

: アドバンスド・アキュブレンドにより表示可能 コンポジット同期信号、シンクオングリーン同期信号などの場合は、正常に表示できな

い場合があります。 アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になる場合

があります。

*U-XGAはセパレート同期信号のみ対応です。

107

お知らせとお願い

はじめに

目

次

接続とセッティング

基本操作

メニュー

· 操 作

ビュー ワを使う

🥏 RGB INPUT端子のピン配列と信号名 🗕

ミニD-Sub 15ピン(アナログ)入力端子

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル ビデオ信号:0.7 Vp-p(アナログ) 同期信号:TTLレベル

ピン番号	RGB信号(アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接地	
5	接地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接地	
11		
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	



	商品名	型名
リモコン	プレゼンテーションリモコンキット	PR51KIT
ランプ	交換用ランプ	LT51LP
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	100型八イコントラストスクリーン	VL-NS100B
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	80型八イコントラストスクリーン	VL-NS80B
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	60型ハイコントラストスクリーン	VL-NS60B
	60型 / 80型共通八イコントラストスクリーンスタンド	VL-NS6080ST
	40型広視野角スクリーン	VL-S40
スイッチャ	RGB信号入力切替ユニット	VL-SW401
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102
書画カメラ	高解像度モニタカメラ	MT/C 850X
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル(2m)	VL-CA02MD
	コンポーネントビデオ接続ケーブル(3m)	VL-CA03V
アダプタ	変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1
外観図 はじめに ÷ Ŷ 0 850 ∼ NI O∀ 809 PC CARD OIGUA \odot 0 o 😳 o 0 目 次 接続とセッティング đ 0 O SSECON GRAD OF LEILA S A O SUTATS C ZEFECL D U MENU 基本操作 196 メニュー 操作 _**∏**i Đ Π 238 243 43.5 レンズ中心 ビュー ワを使う 4 UUU レンズ中心 53 29.5 000 ¥ \mp 単位:mm お知らせとお願い ∞

保証と修理サービス

(必ずお読みください)

保証書	補修用性能部品の最低保有期間	ご不明な点や修理に関するご質問は
この商品には、保証書を別途添付 しております。 保証書は、必ず「お買いあげ日・ 販売店名」などの記入をお確かめ のうえ、販売店から受け取って いただき内容をよくお読みのあと 大切に保存してください。 保証期間 お買いあげ日から1年間です。 ただし、ランプは6ヶ月以内で 1000時間までです。	当社は、このプロジェクタの補修 用性能部品を製造打切後、最低8 年保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を 維持するために必要な部品です。	製品の故障、修理に関するご質問 はお買い上げの販売店またはNEC フィールディング株式会社の支 店・営業所にお願いいたします。 各地の支店・営業所については、 別紙一覧表をご覧ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(102ページ)に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグ を抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

―― 保証期間は ――――

修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	投映型フルカラープロジェクタ
形 名	LT150ZJ
お買いあげ日	年月日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
 べんりメモ お買い	いあげ店名

―― 保証期間がすぎているときは-修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で 修理させていただきます。

修理料金の仕組み



愛情点検	長年ご使用のプロジェクタの点検をぜひ!		熱・湿気・ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、 ときには安全性を損なって事故につながることもあります。		
\bigtriangledown	このような 症状は ありませんか	電源を入れても映像や音が出ない。 上下、または左右の映像がかけて映る。 映像が時々、消えることがある。 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 電源を切っても、映像や音が消えない。 内部に水や異物が入った。		ご使用 中止	故障や事故防止のため、電源を切り、 コンセントから電源プラグを抜いて、 必ず販売店にご相談ください。





NECビューテクノロジー株式会社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル 営業本部 国内営業部 ☎(03)5232-6148(ダイヤルイン)

> Printed in Japan 7N8P0762